

令和7年度 決算事業報告書



人権・社会教育課



款	2	総務費				項	1	総務管理費				目	7	財産管理費				会計名		一般会計	
事業名		2-2	庁舎等管理費(天萬庁舎)											所属名		人権・社会教育課					
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		天萬庁舎		総合計画における位置づけ ①町民が主役のまちづくり 「4つの挑戦」から見た位置づけ ①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち) 根拠法令・要綱等										名称		南部町庁舎管理規則				
															URL		https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000034.html				
															名称						
															URL						
	意図 (対象をどうするか)		安心・安全な庁舎環境を提供している。		名称										URL						
															URL						
															名称						
															URL						
	成果の視点 (どのような効果があるか)		庁舎設備機器点検及び清掃を行い、安心・安全な庁舎環境を提供する。		決算増減の理由										執行率の理由						
															執行率の理由						
非該当															非該当						
非該当															非該当						
前年度比較		前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率										91.8 %	
		12,512,206 円		10,899,819 円		△ 1,612,387 円		△ 12.9 %													
		前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減													
		13,355 千円		11,879 千円		△ 1,476 千円		△ 11.1 %													

【事業内容】

天萬庁舎が住民サービスの拠点としての機能を発揮できるよう、維持管理を行う。

【決算の状況】

(計画)		(実績)		内 容	単位:円
細 節	予算額	決算額			
消耗品費	164,050	163,234	事務用品代、日用品代、その他消耗品代		
燃料費	47,000	35,412	ガス		
光熱水費	6,243,000	5,386,251	電気5,240,495円 サイレン27,924円 水道117,832円		
施設修繕料	52,250	52,250	空調設備修繕49,500円 男子トイレ漏水修繕2,750円		
備品修繕料	13,200	13,200	電話故障修理13,200円		
通信運搬費	864,000	778,332	電話		
手数料	16,000	15,400	屋内消火栓設備ホース耐圧試験		
火災保険料	151,000	150,225	火災保険		
保守点検委託料	2,449,500	2,444,600	自家用電気工作物保安管理150,000円(前田電気管理事務所) 冷暖房設備1,665,400円(TBM) 自動ドア132,000円(山陰エレベータ) エレベーター277,200円(ジャパンエレベーターサービス) 消防設備220,000円(上田商事)		
施設管理委託料	1,689,000	1,687,319	警備184,800円(大同警備保障) 清掃(ワックス清掃等)764,445円(東亜建物管理) 清掃(トイレ、床等)438,678円(南部広域シルバー人材センター) 周辺環境整備299,396円(南部広域シルバー人材センター)		
借上料	36,000	35,640	AED		
使用料	154,000	137,956	下水道116,242円 放送受信料21,714円		
計	11,879,000	10,899,819			

(歳入内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				10 需用費	6,977,565	5,650,347
				11 役務費	944,765	943,957
				12 委託料	4,106,906	4,131,919
				13 使用料及び賃借料	155,830	173,596
				17 備品購入費	327,140	0
	一般財源	12,512,206	10,899,819			
	計	12,512,206	10,899,819	計	12,512,206	10,899,819

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容	天萬庁舎の機能が発揮できるよう今後も維持、管理に努め、破損箇所等については計画的に修繕を行い早期の対応に努める。
②次年度へ向けた次への行動・具体策	
達成出来た点をさらに伸ばす方策	保守点検結果等から施設の異常を察知し、故障・破損する前段階からの計画的な更新を図る。
解決すべき課題への方策	施設の老朽化により破損箇所等が多発しているため光熱水費の毎月の変動から不測の漏水・漏電等の早期発見に努めていく。また、備品の計画的な更新をしていく。

事業名	2-2	庁舎等管理費(天萬庁舎)	所属名	人権・社会教育課
(1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 各種設備機器業者の保守点検報告も含め、不具合事象を確認した際、早期の対応を実施するなど、適切な管理をする事で安心・安全な環境が提供できた。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 設備機器業者・清掃業者と密な連絡を取り、突発的な事象の対応や美装を図った。 夏季・冬季における猛暑・厳冬において、空調機器を利用する際、適宜ルールに則り省エネを図った。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 一部設備機器の突発的な不具合への事後対応などあり、少なからず来庁者の施設利用に支障が生じた。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 空調機器の利用において、省エネの目線にて運用にしているものの、昨今の猛暑日や電気料金の増加に伴い、その費用は上昇傾向にあり、来庁者の快適性を担保するにあたり、その利用を抑制するにも限界がある。				

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	1	人権対策費	会計名	一般会計																			
事業名		1	人権対策事務費						所属名	人権・社会教育課																			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民	総合計画における位置づけ ⑤人権が大黒柱のまちづくり 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等																										
	意図 (対象をどうするか)	あらゆる差別がなくなり、人権が尊重されている。	名称		人権教育及び人権啓発の推進に関する法律																								
			URL		https://laws.e-gov.go.jp/law/412AC1000000147																								
			名称		南部町における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす条例																								
			URL		https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000317.html																								
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町民が明るく住みよい町であると実感できるよう、様々なセミナー等を開催し、人権意識の啓発を継続的行うことが重要である。	名称		南部町人権教育・啓発及び同和対策事業関係団体等事業費補助金交付要綱																								
URL			https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000686.html																										
決算増減の理由			執行率の理由																										
人権意識調査を実施したための増			非該当																										
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		83.2 %																						
	4,129,095 円	4,719,259 円	590,164 円	14.3 %																									
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																									
	4,513 千円	5,670 千円	1,157 千円	25.6 %																									
【事業内容】 人権課題をテーマに学習する「ミカエル・セミナー」、身近な人権課題を学習する「振興区別人権問題交流懇談会」を軸に、それぞれの取組の特性を活かし、人権教育、人権啓発活動を推進する。																													
【決算の状況】 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 研修やセミナー等を通じ、参加者それぞれが「人権感覚」を自分のものとする事ができた。 (計画) ○ ミカエル・セミナー 年間4回開催										②達成出来なかったこと(問題)とその理由 人権教育は、多種多様で幅が広く、また経過と共に変容があり、それぞれの課題全てを把握する事が困難である。 (実績) (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ ミカエル・セミナー																			
				<table><tr><td>日程</td><td>テーマ・内容</td><td>講師</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>5/17</td><td>障がいと人権</td><td>ハーネスの会</td><td>80人</td></tr><tr><td>7/31</td><td>同和問題と人権</td><td>映画上映</td><td>168人</td></tr><tr><td>9/12</td><td>性自認と人権</td><td>安井 真翔</td><td>85人</td></tr><tr><td>12/5</td><td>人権文化</td><td>金 尚均</td><td>56人</td></tr></table> それぞれ、セミナーのテーマを広げ、新鮮な気持ちで受講できる環境を提供できた。また、その都度アンケートの回答を取り込み、人権教育に繋げている。						日程	テーマ・内容	講師	参加者数	5/17	障がいと人権	ハーネスの会	80人	7/31	同和問題と人権	映画上映	168人	9/12	性自認と人権	安井 真翔	85人	12/5	人権文化	金 尚均	56人
日程	テーマ・内容	講師	参加者数																										
5/17	障がいと人権	ハーネスの会	80人																										
7/31	同和問題と人権	映画上映	168人																										
9/12	性自認と人権	安井 真翔	85人																										
12/5	人権文化	金 尚均	56人																										
				○ 振興区別人権問題交流懇談会 人権学習推進委員、各振興協議会と連携した企画運営を行う。						○振興区別人権問題交流懇談会 振興区別又は小集落ごとに人権研修を実施。 地域での人権学習会:28回316人																			
(歳入内訳 単位:円)										(歳出内訳 単位:円)																			
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																				
							10 需用費	13,795	283,343																				
							11 役務費	29,180	286,290																				
							12 委託料	0	250,000																				
							18 負担金補助及び交付金	4,086,120	3,899,626																				
	一般財源				4,129,095	4,719,259																							
	計				4,129,095	4,719,259	計	4,129,095	4,719,259																				
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		差別解消三法に示されている人権教育、啓発活動の主体となる活動として、人権研修の機会の提供と地域での人権学習を支援、推進する。																										
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																												
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		人権教育、啓発活動を継続しながら、広報等で周知を行い、多くの町民の方に研修に参加していただく機会を提供する。																										
	解決すべき課題への方策		人権尊重社会の実現に向け、関係機関と連携をとりながら、参加したいと思う内容の人権研修、啓発活動を継続する。																										

事業名	1	人権対策事務費	所属名	人権・社会教育課																																																				
○ 南部町人権・同和教育研究集会 1年間の取り組みの総括の会と位置付け、事業の振り返りと今後の活動の方向性について研究・協議する。 ○ 人権意識調査 町民を対象とした人権意識調査を実施し、成果と課題を考察し、報告書にまとめる。 ○負担金 鳥取県西部地区同和対策協議会町村負担金 :36,500円 米子人権擁護委員協議会負担金 :64,000円 鳥取県人権保育連絡会負担金・会費:22,000円 鳥取県人権文化センター会費及び鳥取県人権教育推進協議会研究集会負担金 :146,000円 とっとり被害者支援センター負担金 :30,000円 ○ 補助金 (南部町人権教育・啓発及び同和対策事業関係団体等事業費補助金) 南部町人権会議補助金 交付目的:あらゆる差別を解消するとともに、人権保障に係る施策及び人権教育、啓発活動の推進に取り組む。 交付先 :南部町人権会議 予算額 :1,630,000円 南部町同和事業推進協議会補助金 交付目的:同和事業を積極的に推進し、同和地区住民の社会的地位の向上をはかる。 交付先 :南部町同和事業推進協議会 予算額 :2,520,000円 ○ 南部町人権・同和教育研究集会 開催日:令和8年3月7日(土)開催 内容:表彰式、基調提案、活動報告、記念講演 参加者数:104人 ○ 人権意識調査 調査対象:南部町在住の16歳以上の町民(8,835人) 調査機関:10月～11月 調査方法:郵送、オンライン 配布総数:1,241人 有効回収数:595件(内訳:書面439件、オンライン156件) 有効回答率:47.9%(前年比7.6%) ○負担金 鳥取県西部地区同和対策協議会町村負担金 :36,500円 米子人権擁護委員協議会負担金 :64,000円 鳥取県人権保育連絡会負担金・会費:22,000円 鳥取県人権文化センター会費及び鳥取県人権教育推進協議会研究集会負担金 :141,766円 とっとり被害者支援センター負担金:30,000円 負担金を出した効果:それぞれの人権関係団体に負担金を出すことにより、当該団体の研修会・セミナーなど、人権啓発活動の推進と人権尊重社会の実現に寄与した。 ○ 補助金 (南部町人権教育・啓発及び同和対策事業関係団体等事業費補助金) 南部町人権会議補助金 交付目的:あらゆる差別を解消するとともに、人権保障に係る施策及び人権教育、啓発活動の推進に取り組む。 交付先 :南部町人権会議 交付額 :1,372,104円 【補助金積算の内容】 事業費総額1,373,724円に対する町助成。 南部町同和事業推進協議会補助金 交付目的:同和事業を積極的に推進し、同和地区住民の社会的地位の向上をはかる。 交付先 :南部町同和事業推進協議会 交付額 :2,233,256円 【補助金積算の内容】 事業費総額2,234,923円に対する町助成。 単位:円 <table><tr><th>細節</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>内容</th></tr><tr><td>旅費</td><td>22,000</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>需用費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>126,940</td><td>114,893</td><td>コピー代13,221円、クリアファイル他101,672円</td></tr><tr><td>食糧費</td><td>4,000</td><td>4,000</td><td>人権週間町内啓発活動昼食代(人権擁護委員)</td></tr><tr><td>印刷製本費</td><td>363,000</td><td>164,450</td><td>みんなの人権意識調査報告書他</td></tr><tr><td>役務費</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>330,000</td><td>286,290</td><td>郵送料</td></tr><tr><td>委託料</td><td>250,000</td><td>250,000</td><td>地域貢献事業(みんなの人権意識調査)</td></tr><tr><td>負担金補助及び交付金</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>その他負担金</td><td>424,000</td><td>294,266</td><td>鳥取県西部地区同和対策協議会、米子人権擁護委員協議会等</td></tr><tr><td>その他補助金</td><td>4,150,000</td><td>3,605,360</td><td>南部町人権会議、南部町同和対策推進協議会</td></tr><tr><td>合計</td><td>5,669,940</td><td>4,719,259</td><td></td></tr></table> ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ミカエルセミナーは、平日の19時から開催として仕事終わりの方々に参加いただいている。しかしながら、各種広報媒体にて開催案内をしても、新たな参加者の誘導に至っていない。					細節	予算額	決算額	内容	旅費	22,000	0		需用費				消耗品費	126,940	114,893	コピー代13,221円、クリアファイル他101,672円	食糧費	4,000	4,000	人権週間町内啓発活動昼食代(人権擁護委員)	印刷製本費	363,000	164,450	みんなの人権意識調査報告書他	役務費				通信運搬費	330,000	286,290	郵送料	委託料	250,000	250,000	地域貢献事業(みんなの人権意識調査)	負担金補助及び交付金				その他負担金	424,000	294,266	鳥取県西部地区同和対策協議会、米子人権擁護委員協議会等	その他補助金	4,150,000	3,605,360	南部町人権会議、南部町同和対策推進協議会	合計	5,669,940	4,719,259	
細節	予算額	決算額	内容																																																					
旅費	22,000	0																																																						
需用費																																																								
消耗品費	126,940	114,893	コピー代13,221円、クリアファイル他101,672円																																																					
食糧費	4,000	4,000	人権週間町内啓発活動昼食代(人権擁護委員)																																																					
印刷製本費	363,000	164,450	みんなの人権意識調査報告書他																																																					
役務費																																																								
通信運搬費	330,000	286,290	郵送料																																																					
委託料	250,000	250,000	地域貢献事業(みんなの人権意識調査)																																																					
負担金補助及び交付金																																																								
その他負担金	424,000	294,266	鳥取県西部地区同和対策協議会、米子人権擁護委員協議会等																																																					
その他補助金	4,150,000	3,605,360	南部町人権会議、南部町同和対策推進協議会																																																					
合計	5,669,940	4,719,259																																																						

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	1	人権対策費	会計名	一般会計																																																																																																																																			
事業名		2	就職奨励金支給事業						所属名	人権・社会教育課																																																																																																																																			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	新規学卒者のうち、就職について特に援助を必要とする方	総合計画における位置づけ																																																																																																																																										
			⑤人権が大黒柱のまちづくり																																																																																																																																										
			「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																																																										
			②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																																																																																																																										
			根拠法令・要綱等																																																																																																																																										
	意図 (対象をどうするか)	新規学卒者の方が常用就職、職業の安定を図られている。	名称	南部町における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす条例																																																																																																																																									
			URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000317.html																																																																																																																																									
			名称	南部町特定新規学卒者就職奨励金支給規則																																																																																																																																									
			URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000265.html																																																																																																																																									
	成果の視点 (どのような効果があるか)	対象の方が事業を利用されることにより、就職に必要な準備への支援ができる。	名称																																																																																																																																										
URL																																																																																																																																													
決算増減の理由				執行率の理由																																																																																																																																									
非該当				対象者が計画より少なかったため																																																																																																																																									
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率	37.0 %																																																																																																																																							
	100,000 円	100,000 円	0 円	0.0 %																																																																																																																																									
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																																																																																																																									
	270 千円	270 千円	0 千円	0.0 %																																																																																																																																									
【事業内容】 身体障がい者、知的障がい者、社会的事情等により就職が困難な者を対象に、中学、高等学校、短期大学、大学、盲・聾学校を卒業した者のうち、卒業の翌月までに常用労働者として就職が決定したものに対して奨励金を支給する。 【決算の状況】 (計画) 支給該当予定者数 大学生(卒業見込み者)5人 高校生(卒業見込み者)4人 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 就職援助をすることにより、就職困難な方々にその安定が図られた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 対象者の把握に努める。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">令和5年度</th><th colspan="2">令和6年度</th><th colspan="2">令和7年度</th></tr><tr><th>交付人数(人)</th><th>交付額(円)</th><th>交付人数(人)</th><th>交付額(円)</th><th>交付人数(人)</th><th>交付額(円)</th></tr><tr><td>大学等卒業者</td><td>2</td><td>50,000</td><td>1</td><td>25,000</td><td>3</td><td>75,000</td></tr><tr><td>高校卒業者</td><td>3</td><td>75,000</td><td>3</td><td>75,000</td><td>1</td><td>25,000</td></tr><tr><td>合計</td><td>5</td><td>125,000</td><td>4</td><td>100,000</td><td>4</td><td>100,000</td></tr></table> ②実施できなかったこと(活動上の問題点)とその理由 事業の性質上、年度末の申請となるため、速やかな処理と申請漏れのないよう関係機関との連携が重要である。 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>19 扶助費</td><td>100,000</td><td>100,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>100,000</td><td>100,000</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>100,000</td><td>100,000</td><td>計</td><td>100,000</td><td>100,000</td></tr></table> <tr><td rowspan="4">今後に向けて</td><td colspan="2">①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td colspan="8">常勤労働への就職が難しいなか、今後も就職が容易になるとは考えにくいため、継続して支援を実施する。</td></tr> <tr><td colspan="10">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr> <tr><td colspan="2">達成出来た点をさらに伸ばす方策</td><td colspan="8">引き続き特別支援学校、両隣保館等関係機関と連携し、情報提供をしていく。事業のさらなる活用を図るため広報等で周知を行う。</td></tr> <tr><td colspan="2">解決すべき課題への方策</td><td colspan="8">より申請しやすくなるよう、申請に係る提出書類等について検討を行う。</td></tr>												令和5年度		令和6年度		令和7年度		交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)	大学等卒業者	2	50,000	1	25,000	3	75,000	高校卒業者	3	75,000	3	75,000	1	25,000	合計	5	125,000	4	100,000	4	100,000	款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額					19 扶助費	100,000	100,000																														一般財源	100,000	100,000					計	100,000	100,000	計	100,000	100,000	今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		常勤労働への就職が難しいなか、今後も就職が容易になるとは考えにくいため、継続して支援を実施する。								②次年度へ向けた次への行動・具体策										達成出来た点をさらに伸ばす方策		引き続き特別支援学校、両隣保館等関係機関と連携し、情報提供をしていく。事業のさらなる活用を図るため広報等で周知を行う。								解決すべき課題への方策		より申請しやすくなるよう、申請に係る提出書類等について検討を行う。							
	令和5年度		令和6年度		令和7年度																																																																																																																																								
	交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)																																																																																																																																							
大学等卒業者	2	50,000	1	25,000	3	75,000																																																																																																																																							
高校卒業者	3	75,000	3	75,000	1	25,000																																																																																																																																							
合計	5	125,000	4	100,000	4	100,000																																																																																																																																							
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																																							
				19 扶助費	100,000	100,000																																																																																																																																							
	一般財源	100,000	100,000																																																																																																																																										
	計	100,000	100,000	計	100,000	100,000																																																																																																																																							
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		常勤労働への就職が難しいなか、今後も就職が容易になるとは考えにくいため、継続して支援を実施する。																																																																																																																																										
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																																																												
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		引き続き特別支援学校、両隣保館等関係機関と連携し、情報提供をしていく。事業のさらなる活用を図るため広報等で周知を行う。																																																																																																																																										
	解決すべき課題への方策		より申請しやすくなるよう、申請に係る提出書類等について検討を行う。																																																																																																																																										

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	1	人権対策費	会計名	一般会計	
事業名		3	人権啓発地方委託事業						所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民	総合計画における位置づけ ⑤人権が大黒柱のまちづくり 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等						名称	人権教育・啓発促進法	
									URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/412AC1000000147	
									名称	鳥取県人権啓発活動再委託要綱	
									URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1235948/R3_so_soumu_2.pdf	
									URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000317.html	
	意図 (対象をどうするか)	人権啓発事業に参加することで、人権問題について理解を深めている。	名称 人権教育・啓発促進法 URL https://laws.e-gov.go.jp/law/412AC1000000147 名称 鳥取県人権啓発活動再委託要綱 URL https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1235948/R3_so_soumu_2.pdf 名称 南部町における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす条例 URL https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000317.html						決算増減の理由		執行率の理由
									非該当		非該当
成果の視点 (どのような効果があるか)	人権公演会を通して、多様な視点から人権についての気づきを得てもらうことができる。また幅広い世代の方へ人権感覚を養ってもらうような事業を行う必要がある。	人権公演会を通して、多様な視点から人権についての気づきを得てもらうことができる。また幅広い世代の方へ人権感覚を養ってもらうような事業を行う必要がある。						決算増減の理由		執行率の理由	
								非該当		非該当	
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		83.3 %				
	200,000 円	200,000 円	0 円	0.0 %							
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減							
	200 千円	240 千円	40 千円	20.0 %							
【事業内容】 事業費を県の委託金として受け入れ、人権啓発事業を開催する。 (歳入の委託金の補助割合は10/10)											
【決算の状況】 (計画) ○ミカエル・人権講演会 日時： 令和7年11月頃 会場： 富有まんてんホール 内容： 劇団タルオルムによる一人芝居 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 公演を通して、時代背景や何が課題かを具体的に学ぶ場を提供し、人権問題に対する認識を深めることができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 参加者数拡大のため、開催日程等の検討を行う。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ミカエル・人権講演会 日 時： 令和7年11月11日 会 場： 富有まんてんホール 内 容： 一人芝居「チマチョゴリ」 参加者:100人 報償費:200,000円(出演料(旅費含む)) ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 実施内容によっては、参加世代が限られてしまうため、多くの方に参加いただけるような内容を模索していく必要がある。											
(歳入内訳 単位:円)											
(歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
15-3-2-1	人権啓発活動委託金				200,000	200,000	7 報償費	200,000	200,000		
							8 旅費	0	0		
							10 需用費	0	0		
	一般財源				0	0					
	計				200,000	200,000	計	200,000	200,000		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		幅広い年代が参加できる形式を継続しながら、人権への気づきや人権を感じる機会を提供していく。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		様々な人権課題について「感じる」ことを大切にしながら、内容、講師等の選定、効果的な広報等に努める。								
	解決すべき課題への方策		開催時期・内容等を、幅広い年代の方に要望を聞き取り、より参加していただく方法を検討する。								

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	2	隣保館費	会計名	一般会計																																																																																			
事業名		1-4	宮前隣保館運営事業						所属名	人権・社会教育課																																																																																			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	隣保館を利用する方						総合計画における位置づけ																																																																																					
								⑤人権が大黒柱のまちづくり																																																																																					
								「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																					
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																																																																					
	根拠法令・要綱等																																																																																												
	意図 (対象をどうするか)	人権意識の高い人材が育成されている。						名称	南部町隣保館条例																																																																																				
								URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000322.html																																																																																				
								名称																																																																																					
								URL																																																																																					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	同和問題を始め、あらゆる人権問題の解決に向けた学習・啓発・交流活動を展開する。						名称																																																																																					
URL																																																																																													
決算増減の理由								執行率の理由																																																																																					
非該当								非該当																																																																																					
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		89.7 %																																																																																						
	3,018,098 円	3,142,164 円	124,066 円	4.1 %																																																																																									
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																																																																									
	3,372 千円	3,503 千円	131 千円	3.9 %																																																																																									
【事業内容】 ○ 相談事業の充実を図る。 ○ 地区住民を対象とした学習会・研修会を開催する。 ○ 現地研修を通じて正しい差別の現状及び情報を発信する。 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 関係機関や住民との連携を深め、地区内訪問や学習会等を通して、人権意識の向上や、住民間や職員と住民間の繋がりを深めることができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 学習会等の内容を見直し、ニーズに合ったものにしていく必要がある。 【決算の状況】 (計画) ○ 生活相談・訪問活動 地区内の実情を把握する ・生活相談:随時 ・75歳以上独居訪問:週1回以上 ○ 学習会・研修会 ・対象児童9人、生徒1人、学習会毎週水曜、 ・町外研修 年1回 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 生活相談・訪問活動 ・生活相談:56件 ・訪問活動:対象者5人 126回 ○ 学習会・研修会 ・学習会:参加児童8人(39回)、生徒1人(36回) ・町外研修:親子社会見学 1回(加茂岩倉遺跡) 8/2 9人 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>15-2-2-6</td><td>隣保館運営費補助金</td><td>1,274,000</td><td>634,000</td><td>1 報酬</td><td>0</td><td>35,100</td></tr><tr><td>20-5-5-1</td><td>子ども食堂ガス代負担金</td><td>36,000</td><td>36,000</td><td>7 報償費</td><td>245,000</td><td>250,000</td></tr><tr><td>21-1-2-1</td><td>隣保館管理事業債</td><td>0</td><td>600,000</td><td>8 旅費</td><td>11,988</td><td>3,182</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10 需用費</td><td>1,945,447</td><td>1,781,349</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11 役務費</td><td>78,783</td><td>83,854</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>12 委託料</td><td>135,504</td><td>140,591</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13 使用料及び賃借料</td><td>417,576</td><td>643,498</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>15 原材料費</td><td>20,000</td><td>20,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>17 備品購入費</td><td>82,500</td><td>103,290</td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>1,708,098</td><td>1,872,164</td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>81,300</td><td>81,300</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>3,018,098</td><td>3,142,164</td><td>計</td><td>3,018,098</td><td>3,142,164</td></tr></table> 今後に向けて ①今後の事業全体の方向性とその内容 地域で行ってきた、人を大切にしていける取り組みを積極的に発信し、活動を通して、他を受け入れ同じ気持ちで取り組んでいける仲間を増やすようにしていく。 ②次年度へ向けた次への行動・具体策 達成出来た点をさらに伸ばす方策 一緒に活動してくれる人が増えてきたので、南部町を含めた、この地域の良さをもっと知ってもらえる活動を推進していく。 解決すべき課題への方策 青年層の活動を活性化できる館としての取り組みを実践していく。										款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	15-2-2-6	隣保館運営費補助金	1,274,000	634,000	1 報酬	0	35,100	20-5-5-1	子ども食堂ガス代負担金	36,000	36,000	7 報償費	245,000	250,000	21-1-2-1	隣保館管理事業債	0	600,000	8 旅費	11,988	3,182					10 需用費	1,945,447	1,781,349					11 役務費	78,783	83,854					12 委託料	135,504	140,591					13 使用料及び賃借料	417,576	643,498					15 原材料費	20,000	20,000					17 備品購入費	82,500	103,290		一般財源	1,708,098	1,872,164	18 負担金補助及び交付金	81,300	81,300		計	3,018,098	3,142,164	計	3,018,098	3,142,164
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																							
15-2-2-6	隣保館運営費補助金	1,274,000	634,000	1 報酬	0	35,100																																																																																							
20-5-5-1	子ども食堂ガス代負担金	36,000	36,000	7 報償費	245,000	250,000																																																																																							
21-1-2-1	隣保館管理事業債	0	600,000	8 旅費	11,988	3,182																																																																																							
				10 需用費	1,945,447	1,781,349																																																																																							
				11 役務費	78,783	83,854																																																																																							
				12 委託料	135,504	140,591																																																																																							
				13 使用料及び賃借料	417,576	643,498																																																																																							
				15 原材料費	20,000	20,000																																																																																							
				17 備品購入費	82,500	103,290																																																																																							
	一般財源	1,708,098	1,872,164	18 負担金補助及び交付金	81,300	81,300																																																																																							
	計	3,018,098	3,142,164	計	3,018,098	3,142,164																																																																																							

事業名	1-4	宮前隣保館運営事業	所属名	人権・社会教育課
○ 各交流事業 ・小学生2回 ・中学生1回(郡交流会) ・高齢者1回 ○ 現地研修 正しい情報発信を行う。 ・小学校1回、他随時受付 ○ 第44回熱と光の解放文化祭の開催 ・10/19に開催予定 ○ 保護者懇談会 保護者と学校の教職員との懇談会 2回 開催予定 ○ 負担金 ・ 鳥取県隣保館連絡協議会負担金:70,000円 ・ 鳥取県西部地区隣保館集会所等職員連絡協議会負担金 :11,300円 ○ 各交流事業 ・小学生2回 8/6 11人、8/27 10人 ・中学生1回 8/21 3人 ・高齢者1回 9/17 15人 ○ 現地研修 ・フィールドワークを中心とした研修を実施 2回 8/5(12人)、11/11(32人) ○ 第44回熱と光の解放文化祭の開催 10/19開催 約150人参加 記念講演「私と部落」 講師:シンガーソングライター 遊人 さん バザー、小学生の発表(意見)、手話うたなど実施。 ○ 保護者懇談会 学習会について、教職員とともに関わって一緒に学んでいこうと確認しあった。(2回開催) ○ 負担金 ・ 鳥取県隣保館連絡協議会負担金:70,000円 負担金を出した効果:県内隣保館の相互の連携・協力が図れ、研修会等の実施により、人権啓発に寄与できた。 ・ 鳥取県西部地区隣保館集会所等職員連絡協議会負担金 :11,300円 負担金を出した効果:県西部隣保館の相互の連携・協力が図れ、研修会等の実施により、人権啓発に寄与できた。				

単位:円

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由

各事業では、地区住民の参加が増えてきたが、高齢化が進み参加者が固定化してきている。特に、働いている世代や青年層が参加出来るよう、運営委員会等で検討する必要がある。

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	2	隣保館費	会計名	一般会計																																																																									
事業名		2-3	西伯文化会館運営事業						所属名	人権・社会教育課																																																																									
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	西伯分館を利用する方							総合計画における位置づけ																																																																										
									⑤人権が大黒柱のまちづくり																																																																										
									「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																										
									②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																																																										
									根拠法令・要綱等																																																																										
	意図 (対象をどうするか)	同和問題をはじめ、あらゆる人権問題の解消を目指し学習している。							名称	南部町隣保館条例																																																																									
									URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000322.html																																																																									
									名称																																																																										
									URL																																																																										
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地区内外の人権意識の向上。 生活弱者の支援、施策の情報提供。 人権教育のリーダー育成。							名称																																																																										
URL																																																																																			
決算増減の理由									執行率の理由																																																																										
非該当									非該当																																																																										
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率	89.7 %																																																																									
	2,521,907 円		1,769,064 円		△ 752,843 円		△ 29.9 %																																																																												
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減																																																																												
	2,883 千円		1,973 千円		△ 910 千円		△ 31.6 %																																																																												
【事業内容】 ○地区内の保・小・中・高・成人を対象とした学習、研修を通して自尊感情を高め自立を促す。 ○南部町内外の方々(県外含む)への啓発・学習・広報を通じて同和問題をはじめとする差別問題の理解・解消を目指す事業を行う。 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 生活相談や学習会等の実施を通して、住民の困りごとの解決や、人権意識の向上、住民間の繋がりを深めることに寄与した。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 学習会等の内容を見直し、ニーズに合ったものにしていく必要がある。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○生活相談・訪問活動 ・生活相談:155件 ・75歳以上独居訪問:3人 86回 ○解放まつり 解放まつりは地区内外から多くの参加があった(参加者約150人)。 DVD上映 「部落差別はまだあるの?どこにあるの?なくなるの?」 人権標語表彰式、発表会(舞踊・コーラス等)などを実施。 (歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>15-2-2-6</td><td>隣保館運営費補助金</td><td>1,125,000</td><td>633,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>1,396,907</td><td>1,136,064</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>2,521,907</td><td>1,769,064</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>7 報償費</td><td>150,000</td><td>150,000</td></tr><tr><td>8 旅費</td><td>1,702</td><td>0</td></tr><tr><td>10 需用費</td><td>1,225,213</td><td>664,036</td></tr><tr><td>11 役務費</td><td>106,186</td><td>102,922</td></tr><tr><td>12 委託料</td><td>346,280</td><td>348,480</td></tr><tr><td>13 使用料及び賃借料</td><td>514,076</td><td>323,626</td></tr><tr><td>15 原材料費</td><td>10,000</td><td>10,000</td></tr><tr><td>17 備品購入費</td><td>98,450</td><td>100,000</td></tr><tr><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>70,000</td><td>70,000</td></tr><tr><td>計</td><td>2,521,907</td><td>1,769,064</td></tr></table>											款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	15-2-2-6	隣保館運営費補助金	1,125,000	633,000																										一般財源	1,396,907	1,136,064		計	2,521,907	1,769,064	節	前年度決算額	本年度決算額	7 報償費	150,000	150,000	8 旅費	1,702	0	10 需用費	1,225,213	664,036	11 役務費	106,186	102,922	12 委託料	346,280	348,480	13 使用料及び賃借料	514,076	323,626	15 原材料費	10,000	10,000	17 備品購入費	98,450	100,000	18 負担金補助及び交付金	70,000	70,000	計	2,521,907	1,769,064
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																
15-2-2-6	隣保館運営費補助金	1,125,000	633,000																																																																																
	一般財源	1,396,907	1,136,064																																																																																
	計	2,521,907	1,769,064																																																																																
節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																	
7 報償費	150,000	150,000																																																																																	
8 旅費	1,702	0																																																																																	
10 需用費	1,225,213	664,036																																																																																	
11 役務費	106,186	102,922																																																																																	
12 委託料	346,280	348,480																																																																																	
13 使用料及び賃借料	514,076	323,626																																																																																	
15 原材料費	10,000	10,000																																																																																	
17 備品購入費	98,450	100,000																																																																																	
18 負担金補助及び交付金	70,000	70,000																																																																																	
計	2,521,907	1,769,064																																																																																	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		地域住民に寄り添う事業を展開する。教育と啓発事業に努める。																																																																																
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																		
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		地域の総合相談の窓口として、館職員が情報共有しながらきめ細やかな対応ができた。地域との信頼関係がより深まるよう、引き続き訪問活動も行っていく。																																																																																
	解決すべき課題への方策		現在行っている事業対象や、内容を再検討して、住民のニーズに合った事業を行い、館利用者の拡大に繋げる。																																																																																

事業名	2-3	西伯文化会館運営事業	所属名	人権・社会教育課																																																																																
○ 地区学習会(隔週木曜)や教養学習事業(ほのぼのサロン月1回、100歳体操週1回等)を継続して実施していく。 ○ 福祉事業を通して、高齢者独居世帯の見守りを行う(4回)。 ○ 負担金 鳥取県隣保館連絡協議会負担金:70,000円 ○ 地区学習会は生徒数は減少しているが、計画に沿って実施できた(小学生19回、中学生9回)。ほのぼのサロン(11回)、100歳体操(49回)。全町小学生対象の夏休み陶芸教室(2回計48人)。 ○ 高齢者独居世帯の見守りの一環として、配食を行った(4回実施)。 ○ 負担金 鳥取県隣保館連絡協議会負担金:70,000円 負担金を出した効果:県内隣保館の相互の連携・協力が図れ、研修会等の実施により、人権啓発に寄与できた。 単位:円 <table><tr><td>細節</td><td>予算額</td><td>決算額</td><td>内容</td></tr><tr><td>報償費</td><td>150,000</td><td>150,000</td><td>解放まつり講師謝礼、小学校学習会報償費等</td></tr><tr><td>普通旅費</td><td>31,000</td><td>0</td><td>研修旅費</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>233,000</td><td>215,192</td><td>コピー代、消耗品等</td></tr><tr><td>燃料費</td><td>110,000</td><td>74,445</td><td>ガス代、灯油代</td></tr><tr><td>食糧費</td><td>30,000</td><td>26,321</td><td>料理教室調味料等</td></tr><tr><td>印刷製本費</td><td>5,000</td><td>4,840</td><td>写真カラープリント</td></tr><tr><td>光熱水費</td><td>376,000</td><td>320,468</td><td>水道料金、電気代</td></tr><tr><td>施設修繕料</td><td>22,770</td><td>22,770</td><td>トイレ便器タンクの漏水・便器ロータンク排水弁取替</td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>52,000</td><td>37,595</td><td>電話代、切手代</td></tr><tr><td>手数料</td><td>15,000</td><td>12,031</td><td>浄化槽法定点検(鳥取県保健事業団)</td></tr><tr><td>火災保険料</td><td>54,000</td><td>53,296</td><td>建物災害共済継続委託分担金</td></tr><tr><td>保守点検委託料</td><td>124,000</td><td>123,200</td><td>消防設備点検(上田商事)57,200円、浄化槽維持管理(みつわ環境開発)66,000円</td></tr><tr><td>施設管理委託料</td><td>226,000</td><td>225,280</td><td>浄化槽清掃(みつわ衛生社)192,280円、ガラス清掃(東亜建物管理)33,000円</td></tr><tr><td>借上料</td><td>339,000</td><td>300,790</td><td>AED、バス借上料</td></tr><tr><td>使用料</td><td>25,000</td><td>22,836</td><td>NHK放送受信料、再送信料金等</td></tr><tr><td>原材料費</td><td>10,000</td><td>10,000</td><td>防災訓練炊き出し用食材等</td></tr><tr><td>備品購入費</td><td>100,000</td><td>100,000</td><td>DVD、ガス炊飯器購入</td></tr><tr><td>その他負担金</td><td>70,000</td><td>70,000</td><td>県隣協負担金</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,972,770</td><td>1,769,064</td><td></td></tr></table> ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 高齢者の方の館利用者は増加しているが、他世代の利用者が少なく、その拡大について検討する必要がある。					細節	予算額	決算額	内容	報償費	150,000	150,000	解放まつり講師謝礼、小学校学習会報償費等	普通旅費	31,000	0	研修旅費	消耗品費	233,000	215,192	コピー代、消耗品等	燃料費	110,000	74,445	ガス代、灯油代	食糧費	30,000	26,321	料理教室調味料等	印刷製本費	5,000	4,840	写真カラープリント	光熱水費	376,000	320,468	水道料金、電気代	施設修繕料	22,770	22,770	トイレ便器タンクの漏水・便器ロータンク排水弁取替	通信運搬費	52,000	37,595	電話代、切手代	手数料	15,000	12,031	浄化槽法定点検(鳥取県保健事業団)	火災保険料	54,000	53,296	建物災害共済継続委託分担金	保守点検委託料	124,000	123,200	消防設備点検(上田商事)57,200円、浄化槽維持管理(みつわ環境開発)66,000円	施設管理委託料	226,000	225,280	浄化槽清掃(みつわ衛生社)192,280円、ガラス清掃(東亜建物管理)33,000円	借上料	339,000	300,790	AED、バス借上料	使用料	25,000	22,836	NHK放送受信料、再送信料金等	原材料費	10,000	10,000	防災訓練炊き出し用食材等	備品購入費	100,000	100,000	DVD、ガス炊飯器購入	その他負担金	70,000	70,000	県隣協負担金	合計	1,972,770	1,769,064	
細節	予算額	決算額	内容																																																																																	
報償費	150,000	150,000	解放まつり講師謝礼、小学校学習会報償費等																																																																																	
普通旅費	31,000	0	研修旅費																																																																																	
消耗品費	233,000	215,192	コピー代、消耗品等																																																																																	
燃料費	110,000	74,445	ガス代、灯油代																																																																																	
食糧費	30,000	26,321	料理教室調味料等																																																																																	
印刷製本費	5,000	4,840	写真カラープリント																																																																																	
光熱水費	376,000	320,468	水道料金、電気代																																																																																	
施設修繕料	22,770	22,770	トイレ便器タンクの漏水・便器ロータンク排水弁取替																																																																																	
通信運搬費	52,000	37,595	電話代、切手代																																																																																	
手数料	15,000	12,031	浄化槽法定点検(鳥取県保健事業団)																																																																																	
火災保険料	54,000	53,296	建物災害共済継続委託分担金																																																																																	
保守点検委託料	124,000	123,200	消防設備点検(上田商事)57,200円、浄化槽維持管理(みつわ環境開発)66,000円																																																																																	
施設管理委託料	226,000	225,280	浄化槽清掃(みつわ衛生社)192,280円、ガラス清掃(東亜建物管理)33,000円																																																																																	
借上料	339,000	300,790	AED、バス借上料																																																																																	
使用料	25,000	22,836	NHK放送受信料、再送信料金等																																																																																	
原材料費	10,000	10,000	防災訓練炊き出し用食材等																																																																																	
備品購入費	100,000	100,000	DVD、ガス炊飯器購入																																																																																	
その他負担金	70,000	70,000	県隣協負担金																																																																																	
合計	1,972,770	1,769,064																																																																																		

款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	3	老人館費	会計名	一般会計
事業名		1	老人館運営事業						所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地区内高齢の方						総合計画における位置づけ		
								⑤人権が大黒柱のまちづくり		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
	意図 (対象をどうするか)	安心して健康に地域のなかで暮らしている。						根拠法令・要綱等		
								名称	南部町老人憩いの家規則	
								URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000296.html	
								名称		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	高齢者が気軽に利用できる施設にする。						URL		
								名称		
URL										
決算増減の理由								執行率の理由		
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	施設修繕費が増えたため。		非該当		
		167,168 円	347,637 円	180,469 円	108.0 %					
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減					
		239 千円	428 千円	189 千円	79.1 %					
		本年度執行率	81.2 %							
【事業内容】 地区高齢者による様々な学習活動・交流活動・奉仕活動その他の体験活動を通して生き甲斐の有る地域づくりを行い、安心して暮らせる地域を目指す。 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 体験活動を通して、参加者への生き甲斐づくりや気軽に集える拠点の提供をすることができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 参加できなかった方に対し、参加を促す声掛けが必要であった。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 作品作り等を計画し、気軽に集える場所の提供ができた。 定例会10回、茶話会2回、法話講座1回 ○ 交流会1回・視察研修2回 6/26後楽園(岡山県)14人 11/12砂の美術館(鳥取市)15人 実施した。 ○ 百歳体操38回・延べ207人参加。 ○ むつみ荘周辺2回(除草作業・ゴミ拾い・美化活動) 6/19 7人、10/15 11人) 【決算の状況】 (計画) ○ 高齢者が気軽に安心して集える拠点となる場所を提供する(定例会月1回、作品作り年1回、茶話会年1回、法話講座年3回)。 ○ 交流会(1回)・各教室(1回)等の事業を行う。 又、視察研修(6月・1月計2回)等を通して様々な歴史や文化に触れ見解を深める。 ○ 百歳体操を通して健康増進に取り組む(毎週水曜)。 ○ ゴミ拾い、除草作業等の奉仕作業を計画(年3回)。										
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)					
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
							7 報償費	30,000	30,000	
							10 需用費	89,971	269,974	
							11 役務費	9,137	9,137	
							12 委託料	31,460	31,926	
							13 使用料及び賃借料	6,600	6,600	
	一般財源				167,168	347,637				
	計				167,168	347,637	計	167,168	347,637	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		参加者中心に運営されているが、よりたくさんの方が参加できるような企画や運営のための支援をしている。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		参加したくなるような、企画や研修の機会を増やし、元気に活動できるように支援を続ける。							
	解決すべき課題への方策		参加できていない方への援助や声掛けをしていく。							

事業名	1	老人館運営事業	所属名	人権・社会教育課																																																
単位:円 <table><tr><td>細節</td><td>予算額</td><td>決算額</td><td>内容</td></tr><tr><td>報償費</td><td>50,000</td><td>30,000</td><td>むつみ学園解放文化祭作品作り・法話講座謝礼</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>14,000</td><td>12,318</td><td>表示灯用電球、誘導灯用蛍光管等</td></tr><tr><td>燃料費</td><td>31,000</td><td>24,080</td><td>ガス料金</td></tr><tr><td>食糧費</td><td>5,000</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>光熱水費</td><td>96,000</td><td>52,076</td><td>水道代、電気代</td></tr><tr><td>施設修繕料</td><td>182,000</td><td>181,500</td><td>火災警報器更新工事49,500円、大広間LED化132,000円</td></tr><tr><td>火災保険料</td><td>10,000</td><td>9,137</td><td>建物災害共済継続委託分担金</td></tr><tr><td>保守点検委託料</td><td>20,000</td><td>19,800</td><td>消防設備点検(上田商事)</td></tr><tr><td>施設管理委託料</td><td>13,000</td><td>12,126</td><td>ガラス清掃(東亜建物管理)</td></tr><tr><td>使用料</td><td>7,000</td><td>6,600</td><td>再送信料金</td></tr><tr><td>合計</td><td>428,000</td><td>347,637</td><td></td></tr></table> ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 計画通りの事業は出来たが、参加者が固定化の傾向があり、さらなる呼びかけが必要。					細節	予算額	決算額	内容	報償費	50,000	30,000	むつみ学園解放文化祭作品作り・法話講座謝礼	消耗品費	14,000	12,318	表示灯用電球、誘導灯用蛍光管等	燃料費	31,000	24,080	ガス料金	食糧費	5,000	0		光熱水費	96,000	52,076	水道代、電気代	施設修繕料	182,000	181,500	火災警報器更新工事49,500円、大広間LED化132,000円	火災保険料	10,000	9,137	建物災害共済継続委託分担金	保守点検委託料	20,000	19,800	消防設備点検(上田商事)	施設管理委託料	13,000	12,126	ガラス清掃(東亜建物管理)	使用料	7,000	6,600	再送信料金	合計	428,000	347,637	
細節	予算額	決算額	内容																																																	
報償費	50,000	30,000	むつみ学園解放文化祭作品作り・法話講座謝礼																																																	
消耗品費	14,000	12,318	表示灯用電球、誘導灯用蛍光管等																																																	
燃料費	31,000	24,080	ガス料金																																																	
食糧費	5,000	0																																																		
光熱水費	96,000	52,076	水道代、電気代																																																	
施設修繕料	182,000	181,500	火災警報器更新工事49,500円、大広間LED化132,000円																																																	
火災保険料	10,000	9,137	建物災害共済継続委託分担金																																																	
保守点検委託料	20,000	19,800	消防設備点検(上田商事)																																																	
施設管理委託料	13,000	12,126	ガラス清掃(東亜建物管理)																																																	
使用料	7,000	6,600	再送信料金																																																	
合計	428,000	347,637																																																		

款	7	土木費	項	5	公園費	目	1	公園管理事業	会計名	一般会計					
事業名		1	公園管理事業						所属名	人権・社会教育課					
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	南部町営西伯カントリーパーク						総合計画における位置づけ							
								⑦歴史・文化およびスポーツの振興							
								「4つの挑戦」から見た位置づけ							
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)							
	意図 (対象をどうするか)	スポーツを通した交流の場を提供し、安全に利用できるよう適正な維持管理を行い、交流や健康増進につながっている。						根拠法令・要綱等							
								名称	南部町営西伯カントリーパーク条例						
								URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000248.html						
								名称	南部町公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	施設の利用促進を図り、利用者(または利用団体)の増加により、スポーツ活動を通しての交流や健康増進に繋がる。施設利用時の安全性を確保する。						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000248.html						
								名称							
URL															
決算増減の理由								執行率の理由							
前年度比較		前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		非該当	非該当				
		14,266,844 円		13,529,968 円		△ 736,876 円		△ 5.2 %							
		前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減							
		14,365 千円		13,538 千円		△ 827 千円		△ 5.8 %							
								本年度執行率	99.9 %						
【事業内容】 西伯カントリーパークの維持・管理を行い、スポーツ等を通して、住民の健康増進を図り、交流の場として提供する。 〔 指定管理者への管理委託(H21年度から指定管理委託実施) 委託期間:令和6年4月1日～令和9年3月31日(3年間) 指定管理者:株式会社TKSS 〕															
【決算の状況】 (計画) ○業務委託 南部町営西伯カントリーパーク指定管理委託先:株式会社TKSS ○委託内容:西伯カントリーパーク管理業務 ・施設の点検、補修、清掃 ・設備の警備 ・安全衛生管理 ・施設使用者への応接 予約受付、窓口対応、使用料の徴収など ○指定管理者と連携し、有効利用を図り、施設利用者・団体の増加を目指す ○施設の利用調整を行う。 ・野球場等の年間利用調整会議 ・周辺集落(能竹、賀祥)との利用協定協議															
(実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・利用者数は減少したものの、リピーターや複数回利用される団体も多く、利用料金は上回り、一定の収入の確保をすることができた。 ②実施出来なかったこと(成果上の問題)とその理由 ・利用者数の減少傾向を踏まえ、新規利用者の確保及びリピーターの利用維持につながる取組みを進めることができなかった。															
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)															
款-項-目-節		科 目 名 称				前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額		本年度決算額	
21-1-4-1		公園管理事業債(脱炭素化推進事業債)				0		500,000		10 需用費		283,690		830,170	
										11 役務費		41,758		41,758	
										12 委託料		12,937,756		12,622,400	
										13 使用料及び賃借料		35,640		35,640	
										14 工事請負費		875,600		0	
										15 原材料費		92,400		0	
		一般財源				14,266,844		13,029,968							
		計				14,266,844		13,529,968		計		14,266,844		13,529,968	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		利用者及び近隣住民が、不便を感じないよう施設及び設備の維持管理を継続する。利用者数増や効率的な利用を確保するために、大会等の誘致に努める。												
	②次年度へ向けた次への行動・具体策														
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		施設及び設備の維持管理、施設利用管理を継続して指定管理者に委託する。												
	解決すべき課題への方策		利用者数・利用料の増加を図るため、大会等の誘致や町内外への利用促進PRを指定管理者とともに行う。老朽化している設備や備品が多く、利用者の安全を確保及び利用増加を図るため、計画的に更新する必要がある。												

事業名	1	公園管理事業	所属名	人権・社会教育課																																																																																
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○利用者数等推移 ・テニスコート <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>1,748人</td><td>1,776人</td><td>1,388人</td></tr><tr><td>利用料(円)</td><td>293,725</td><td>283,110</td><td>210,140</td></tr></table> ・野球場 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>4,286人</td><td>4,542人</td><td>4,758人</td></tr><tr><td>利用料(円)</td><td>834,045</td><td>677,450</td><td>834,840</td></tr></table> ○施設の年間利用調整会議の実施 ・野球場等年間利用調整会議:令和8年2月26日 参加団体:17(申込団体:19) (町民野球場、西伯カントリーパーク合同実施) ①利用調整会議の実施、利用申込の提出案内 文書及び町HPで周知。 ②利用調整会議にて、日程の決定。 ・周辺集落との利用協定協議 賀祥区:令和8年3月29日(日)区総会に参加 能竹区:区長を協定協議を行う(総会はなし) ・多目的広場 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>15人</td><td>20人</td><td>0人</td></tr><tr><td>利用料(円)</td><td>620</td><td>620</td><td>0</td></tr></table> ・施設全体合計 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>6,049人</td><td>6,338人</td><td>6,146人</td></tr><tr><td>利用料(円)</td><td>1,128,390</td><td>961,180</td><td>1,044,980</td></tr></table> ・夏期合宿の誘致や大会誘致を行い、利用者数の維持ができた。 ・休憩室等の照明をLED化し、利用者が快適に施設を使用できるように整備することができた。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ・利用日が土日祝に集中しているため、利用頻度が低い平日や時間帯の利用促進を行う必要がある。 ・より良い施設のPR方法を模索し、利用促進を図る。 単位:円 <table><tr><td>細節</td><td>予算額</td><td>決算額</td><td>内容</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>10,000</td><td>9,020</td><td>電話機</td></tr><tr><td>施設修繕料</td><td>826,600</td><td>821,150</td><td>グラウンド陥没修繕、ブロー交換、事務室等LED化</td></tr><tr><td>火災保険料</td><td>42,000</td><td>41,758</td><td>建物災害共済継続委託分担金</td></tr><tr><td>施設管理委託料</td><td>159,000</td><td>158,400</td><td>飲用水滅菌装置保守点検料</td></tr><tr><td>指定管理料</td><td>12,464,000</td><td>12,464,000</td><td>指定管理料(株式会社TKSS)</td></tr><tr><td>借上料</td><td>36,000</td><td>35,640</td><td>AEDレンタル</td></tr><tr><td>合計</td><td>13,537,600</td><td>13,529,968</td><td></td></tr></table>						R5	R6	R7	利用者数	1,748人	1,776人	1,388人	利用料(円)	293,725	283,110	210,140		R5	R6	R7	利用者数	4,286人	4,542人	4,758人	利用料(円)	834,045	677,450	834,840		R5	R6	R7	利用者数	15人	20人	0人	利用料(円)	620	620	0		R5	R6	R7	利用者数	6,049人	6,338人	6,146人	利用料(円)	1,128,390	961,180	1,044,980	細節	予算額	決算額	内容	消耗品費	10,000	9,020	電話機	施設修繕料	826,600	821,150	グラウンド陥没修繕、ブロー交換、事務室等LED化	火災保険料	42,000	41,758	建物災害共済継続委託分担金	施設管理委託料	159,000	158,400	飲用水滅菌装置保守点検料	指定管理料	12,464,000	12,464,000	指定管理料(株式会社TKSS)	借上料	36,000	35,640	AEDレンタル	合計	13,537,600	13,529,968	
	R5	R6	R7																																																																																	
利用者数	1,748人	1,776人	1,388人																																																																																	
利用料(円)	293,725	283,110	210,140																																																																																	
	R5	R6	R7																																																																																	
利用者数	4,286人	4,542人	4,758人																																																																																	
利用料(円)	834,045	677,450	834,840																																																																																	
	R5	R6	R7																																																																																	
利用者数	15人	20人	0人																																																																																	
利用料(円)	620	620	0																																																																																	
	R5	R6	R7																																																																																	
利用者数	6,049人	6,338人	6,146人																																																																																	
利用料(円)	1,128,390	961,180	1,044,980																																																																																	
細節	予算額	決算額	内容																																																																																	
消耗品費	10,000	9,020	電話機																																																																																	
施設修繕料	826,600	821,150	グラウンド陥没修繕、ブロー交換、事務室等LED化																																																																																	
火災保険料	42,000	41,758	建物災害共済継続委託分担金																																																																																	
施設管理委託料	159,000	158,400	飲用水滅菌装置保守点検料																																																																																	
指定管理料	12,464,000	12,464,000	指定管理料(株式会社TKSS)																																																																																	
借上料	36,000	35,640	AEDレンタル																																																																																	
合計	13,537,600	13,529,968																																																																																		

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計
事業名		2	社会教育総務事務費						所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①社会教育委員、社会教育担当職員等 ②補助金交付団体 ③地域おこし協力隊						総合計画における位置づけ		
								⑥生涯学習の推進		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
								根拠法令・要綱等		
	意図 (対象をどうするか)	①社会教育に関する幅広い知識を習得している。 ②町民が地域課題を学ぶことができる研修や体験学習を創出している。 ③若者とともに地域振興を行っている。						名称	社会教育法	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/324AC0000000207	
								名称	南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金交付要綱	
								URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000691.html	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域コミュニティの核となるような人材や団体の育成を図ることができる。						名称	南部町地域おこし協力隊活動交付金交付要綱	
URL								https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000872.html		
決算増減の理由								執行率の理由		
非該当								非該当		
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		97.2 %			
	5,082,558 円	5,918,110 円	835,552 円	16.4 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	5,297 千円	6,091 千円	794 千円	15.0 %						
【事業内容】 ①社会教育委員の会を開催し、生涯学習及び青少年育成、家庭教育に関する事業等について審議する。 社会教育委員や担当職員等に対し、社会教育主事養成事業や研修等の参加費を支出する。 ②社会教育関係団体の活動を支援するため、補助金及び負担金を支出する。 ③若者による地域づくり振興を行う地域おこし協力隊の活動を支援する。 【決算の状況】 (計画) ①社会教育委員及び社会教育担当職員等の研修 ○社会教育委員の会 ・社会教育委員15人委嘱(任期:令和7年4月1日から令和9年3月31日まで) ・社会教育委員の会を年6回開催し、南部町の社会教育あり方等について審議を行う。 ○社会教育主事養成事業 ・社会教育主事講習B(鳥取会場)に職員または社会教育委員を1人派遣する。 ○各種研修会への参加 ・中国四国社会教育研究大会(山口県)4人派遣する。 ・生涯教育実践研究交流会(福岡県)3人派遣する。 ②社会教育関係団体への負担金及び補助金の交付 ○負担金 ・鳥取県社会教育協議会:7,000円 ・鳥取県社会教育委員連絡協議会:15,000円 ・西部町村社会教育協議会:18,300円 ○補助金 ・南部町PTA連絡協議会:70,000円 ・南部町青少年育成町民会議:285,000円 ・南部町子ども会育成連絡協議会:160,000円 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
							1 報酬	159,900	110,700	
							8 旅費	93,300	41,400	
							10 需用費	82,088	52,774	
							12 委託料	4,204,200	5,156,580	
							13 使用料及び賃借料	18,500	12,860	
							18 負担金補助及び交付金	524,570	543,796	
	一般財源				5,082,558	5,918,110				
	計				5,082,558	5,918,110	計	5,082,558	5,918,110	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		生涯学習がまちづくりにつながるということを広く町民に啓発する。地域振興協議会との連携を密にし、ねらいの共有と事業の精選を行う。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		計画的に社会教育主事講習へ職員を派遣し、部局を超えた連携を生み出す。研修の機会を充実させ、社会状況の変化に対応した事業展開、団体支援を進める。							
	解決すべき課題への方策		地域振興協議会や社会教育関係団体のそれぞれの団体の役割を改めて確認し、地域の核となる人材の育成やつながりづくり、地域づくりを進めていく。							

事業名	2	社会教育総務事務費	所属名	人権・社会教育課
③地域おこし協力隊活動支援 ・地域おこし協力隊1人の雇用及び活動を指導管理する委託先に対し、委託料を支払う。 委託先:なんぶ里山デザイン機構 委託料:5,156,580円 隊員の任期:令和5年6月1日から令和8年5月31日まで (実績) ①社会教育委員及び社会教育担当職員等の研修 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・社会教育委員10人委嘱(任期:令和7年4月1日から令和9年3月31日まで) ・1年間の研究テーマを「社会教育施設等を活用した事業や居場所づくり」とし、委員から出た意見を参考に夏休み中、天萬庁舎の空き部屋を自習室として開放したほか、小・中学生の夏休みの過ごし方アンケート実施の際に意見を聴取した。 ・社会教育主事養成事業に職員1人を派遣した。 ・学び直しとして、関係団体1人が社会教育士を取得。 ・中国四国社会教育研究大会に職員2人を派遣した。 ・鳥取県社会教育振興大会4人(職員3人・社会教育委員1人)を派遣した。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ・社会教育委員の会の研究テーマを1年間で結論まで導き出すことは難しく任期の2年間で検証していく。 (2)活動上の実績 広報なんぶ6月号12ページ ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ・社会教育委員の会を年6回開催した。 平日の午後7時から開催することで、退勤後に参加することができる。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ・社会教育委員は勤務されている方が多いため、平日に開催される研修会に参加することが難しい。 ②社会教育関係団体への負担金及び補助金の交付 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○負担金 ・鳥取県社会教育協議会:7,000円 負担金を出した効果:県内の市町村教育委員会(19市町村)及び社会教育関係団体(13団体)で構成する本協議会は、県外への研修派遣補助、社会教育関係者研修や鳥取県社会教育振興大会兼社会教育委員研修会等を開催しており鳥取県社会教育の振興発展に寄与することができる。 ・鳥取県社会教育委員連絡協議会:10,000円 負担金を出した効果:市町村社会教育委員相互の連絡・協調を図り、県内社会教育の推進に寄与することができる。 ・西部町村社会教育協議会:18,300円 負担金を出した効果:西部地区7町村で構成する本協議会は、各町村社会教育担務者が中心となり、リーダー合宿や研究大会などを開催するなど、各町村社会教育実践者同士のつながりや体験的学習活動等を行うことができる。 ○補助金 ・南部町PTA連絡協議会:70,000円 交付目的:南部町内PTA相互の連絡調整及び情報交換、共通課題の解決や要望の実現を目的とした事業を実施するため。 補助金積算の内容:事業費総額85,026円に対する町助成。 ・南部町青少年育成町民会議:284,425円 交付目的:青少年の健全な育成を目的とした啓発活動、防犯パトロール等の事業を実施するため。 補助金積算の内容:事業費総額285,015円に対する町助成。 ・南部町子ども会育成連絡協議会:154,071円 交付目的:子ども体験事業や各集落の子ども会育成会の相互連携を実施するため。 補助金積算の内容:事業費総額205,335円に対する町助成。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 各団体の情報共有やネットワーク化ができていないが地域で活動している方は重複している。				

事業名	2	社会教育総務事務費	所属名	人権・社会教育課																																																			
(2)活動上の実績 広報なんぶ3月号12ページ ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 西部町村の児童が参加するリーダー合宿や町子ども会育成連絡協議会が実施するわんぱくリーダー塾等、数多くの体験活動を創出することができた。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 複数の団体がばらばらに活動しており、連携が取れていない。 ③地域おこし協力隊活動支援 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 委託先:なんぶ里山デザイン機構 委託料:5,156,580円 委託内容:地域おこし協力隊を同法人で雇用し、給与支給、社会保険、健康診断等を行った。また、隊員活動費を交付し、使途を確認、活動関する助言、事業の進捗管理を行うことで、隊員の活動を支援した。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 就任当初の目的の一つであったえん処明神谷(高姫区)の活用については、管理上の問題があり、一部の活動に留まった。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 地域おこし協力隊の主な活動 ・新☆青年団「へんtoつくり」の事務局として、会計の管理や事業の企画・運営の取りまとめを行った。 ・町内の小学生を対象に小学校の空き教室で放課後アートクラブを実施し、芸術を通した自己肯定感の向上を図った。 西伯小・会見小各6回、計18名が参加。 ・アーティスト・イン・レジデンスとして、国内外から2組のアーティストを南部町に招き、アートクラブの参加児童と制作活動を行った。任期終了後も南部町に在住し、継続してこの事業を中心に活動を行っていく。 広報なんぶ4月号5ページ 広報なんぶ7月号7ページ 広報なんぶ10月号9ページ 広報なんぶ1月号7ページ 広報なんぶ3月号2～3ページ ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 子どもや若者が中心的な活動となり、公民館事業などに展開することができなかった。 ○予算執行状況 単位:円 <table><tr><th>費目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>内容</th></tr><tr><td>非常勤等報酬</td><td>173,000</td><td>110,700</td><td>社会教育委員報酬 12,300円×9名</td></tr><tr><td>普通旅費</td><td>77,000</td><td>41,400</td><td>中国四国社会教育研究大会(山口)2名分</td></tr><tr><td rowspan="4">消耗品費</td><td rowspan="4">50,000</td><td rowspan="4">43,133</td><td>社会教育主事講習テキスト代 14,970</td></tr><tr><td>中国四国社会教育研究大会資料代 9,000</td></tr><tr><td>社教情報 5,760</td></tr><tr><td>その他の消耗品 13,403</td></tr><tr><td>燃料費</td><td>39,000</td><td>9,641</td><td>中国四国社会教育研究大会(山口)ガソリン代</td></tr><tr><td>その他の委託料</td><td>5,157,000</td><td>5,156,580</td><td>地域おこし協力隊活動支援事業委託料</td></tr><tr><td>使用料</td><td>6,000</td><td>800</td><td>中国四国社会教育研究大会(山口)駐車場料金</td></tr><tr><td>通行料</td><td>33,000</td><td>12,060</td><td>中国四国社会教育研究大会(山口)高速道路料金</td></tr><tr><td rowspan="3">その他負担金</td><td rowspan="3">41,000</td><td rowspan="3">35,300</td><td>鳥取県社会教育協議会 7,000</td></tr><tr><td>鳥取県社会教育委員連絡協議会 10,000</td></tr><tr><td>西部町村社会教育協議会 18,300</td></tr><tr><td rowspan="3">その他補助金</td><td rowspan="3">515,000</td><td rowspan="3">508,496</td><td>南部町PTA連絡協議会 70,000</td></tr><tr><td>南部町青少年育成町民会議 284,425</td></tr><tr><td>南部町子ども会育成連絡協議会 154,071</td></tr><tr><td>合計</td><td>6,091,000</td><td>5,918,110</td><td></td></tr></table>					費目	予算額	決算額	内容	非常勤等報酬	173,000	110,700	社会教育委員報酬 12,300円×9名	普通旅費	77,000	41,400	中国四国社会教育研究大会(山口)2名分	消耗品費	50,000	43,133	社会教育主事講習テキスト代 14,970	中国四国社会教育研究大会資料代 9,000	社教情報 5,760	その他の消耗品 13,403	燃料費	39,000	9,641	中国四国社会教育研究大会(山口)ガソリン代	その他の委託料	5,157,000	5,156,580	地域おこし協力隊活動支援事業委託料	使用料	6,000	800	中国四国社会教育研究大会(山口)駐車場料金	通行料	33,000	12,060	中国四国社会教育研究大会(山口)高速道路料金	その他負担金	41,000	35,300	鳥取県社会教育協議会 7,000	鳥取県社会教育委員連絡協議会 10,000	西部町村社会教育協議会 18,300	その他補助金	515,000	508,496	南部町PTA連絡協議会 70,000	南部町青少年育成町民会議 284,425	南部町子ども会育成連絡協議会 154,071	合計	6,091,000	5,918,110	
費目	予算額	決算額	内容																																																				
非常勤等報酬	173,000	110,700	社会教育委員報酬 12,300円×9名																																																				
普通旅費	77,000	41,400	中国四国社会教育研究大会(山口)2名分																																																				
消耗品費	50,000	43,133	社会教育主事講習テキスト代 14,970																																																				
			中国四国社会教育研究大会資料代 9,000																																																				
			社教情報 5,760																																																				
			その他の消耗品 13,403																																																				
燃料費	39,000	9,641	中国四国社会教育研究大会(山口)ガソリン代																																																				
その他の委託料	5,157,000	5,156,580	地域おこし協力隊活動支援事業委託料																																																				
使用料	6,000	800	中国四国社会教育研究大会(山口)駐車場料金																																																				
通行料	33,000	12,060	中国四国社会教育研究大会(山口)高速道路料金																																																				
その他負担金	41,000	35,300	鳥取県社会教育協議会 7,000																																																				
			鳥取県社会教育委員連絡協議会 10,000																																																				
			西部町村社会教育協議会 18,300																																																				
その他補助金	515,000	508,496	南部町PTA連絡協議会 70,000																																																				
			南部町青少年育成町民会議 284,425																																																				
			南部町子ども会育成連絡協議会 154,071																																																				
合計	6,091,000	5,918,110																																																					

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計
事業名		3	スポーツ・文化表彰						所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	スポーツ及び文化活動に携わる町民						総合計画における位置づけ		
								⑦歴史・文化およびスポーツの振興		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
	意図 (対象をどうするか)	スポーツ活動・文化活動において優秀な成績を収めた町民または町内勤務の方を表彰し、活動の継続につながっている。						根拠法令・要綱等		
								名称	南部町教育委員会スポーツ・文化表彰規則	
								URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000515.html	
								名称	南部町教育委員会スポーツ・文化表彰実施要項	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	表彰式(伝達表彰含む)を通して、個人及び団体の活躍の周知及び自己肯定感を高める。						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000516.html	
								名称		
URL										
決算増減の理由								執行率の理由		
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		非該当	見込んでいた人数よりも、受賞者が少なかったため。
	102,611 円		110,338 円		7,727 円		7.5 %			
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減			
	193 千円		193 千円		0 千円		0.0 %			
						本年度執行率		57.2 %		
【事業内容】 町内小・中学校、公民館、南部町総合型地域スポーツクラブ、地域振興協議会などから推薦を受けた個人や団体団体に対し、成績に応じて該当する賞を授与する。										
【決算の状況】 (計画) ○報償費 受賞者に対し、表彰状および副賞を授与する ・各特別賞、栄誉賞及び大賞:5人 4,400円×5個＝22,000円 ・殊勲賞:5人 3,300円×5個＝16,500円 ・各振興賞:60人 1,540円×60個＝92,400円 ・各奨励賞:65人 400円×65人＝26,000円 ・副賞(盾)文字入れ 10円×2,000文字＝20,000円										
(実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・受賞をきっかけに、今後も意欲的に活動を行う機運を醸成することができた。 ・広報やなんぶSANチャンネルでの表彰式を紹介し町民に活躍を広く周知することができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ・文化分野の対象者の把握が、スポーツ分野よりも困難であるため、関係団体と連携して、情報収集に努める。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額
							7 報償費		96,910	104,560
							10 需用費		5,701	5,778
		一般財源			102,611	110,338				
		計			102,611	110,338	計		102,611	110,338
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		スポーツ・文化活動の意欲向上や活躍の周知のため、有効な啓発方法(表彰式)を計画し、実施する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		表彰を行い、スポーツ・文化の意欲向上を図り、地域貢献に寄与する。 被表彰者の姿を町全体に広報することで、さらなる活動への振興に寄与する。							
		解決すべき課題への方策		推薦時及び表彰後の広報等の方法の工夫や、表彰者及び町民へより有効な啓発ができるように検討していく。						

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

事業名	3	スポーツ・文化表彰	所属名	人権・社会教育課																																																													
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 表彰実績 (単位:件) <table><tr><td></td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>スポーツ栄誉賞</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>文化栄誉賞</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>スポーツ大賞</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>文化大賞</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>スポーツ殊勲賞</td><td>1</td><td>4</td></tr><tr><td>スポーツ振興賞</td><td>29</td><td>24</td></tr><tr><td>文化振興賞</td><td>22</td><td>23</td></tr><tr><td>スポーツ奨励賞</td><td>12</td><td>8</td></tr><tr><td>文化奨励賞</td><td>18</td><td>25</td></tr><tr><td>スポーツ功労者賞</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>文化功労者賞</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>スポーツ特別賞</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>文化特別賞</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>86</td><td>88</td></tr></table> 表彰式は令和8年3月1日(日)に実施 広報なんぶ4月号11ページ ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ・推薦が、町内小中学校や総合型地域スポーツ中心となっているため、広報の方法を検討する。 単位:円 <table><tr><td>細節</td><td>予算額</td><td>決算額</td><td>内容</td></tr><tr><td>報償費</td><td>177,000</td><td>104,560</td><td>副賞(盾・文房具)</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>16,000</td><td>5,778</td><td>賞状用紙、コピー代</td></tr><tr><td>合計</td><td>193,000</td><td>110,338</td><td></td></tr></table>						R6	R7	スポーツ栄誉賞	1	1	文化栄誉賞	1	0	スポーツ大賞	1	0	文化大賞	1	2	スポーツ殊勲賞	1	4	スポーツ振興賞	29	24	文化振興賞	22	23	スポーツ奨励賞	12	8	文化奨励賞	18	25	スポーツ功労者賞	0	1	文化功労者賞	0	0	スポーツ特別賞	0	0	文化特別賞	0	0	計	86	88	細節	予算額	決算額	内容	報償費	177,000	104,560	副賞(盾・文房具)	消耗品費	16,000	5,778	賞状用紙、コピー代	合計	193,000	110,338	
	R6	R7																																																															
スポーツ栄誉賞	1	1																																																															
文化栄誉賞	1	0																																																															
スポーツ大賞	1	0																																																															
文化大賞	1	2																																																															
スポーツ殊勲賞	1	4																																																															
スポーツ振興賞	29	24																																																															
文化振興賞	22	23																																																															
スポーツ奨励賞	12	8																																																															
文化奨励賞	18	25																																																															
スポーツ功労者賞	0	1																																																															
文化功労者賞	0	0																																																															
スポーツ特別賞	0	0																																																															
文化特別賞	0	0																																																															
計	86	88																																																															
細節	予算額	決算額	内容																																																														
報償費	177,000	104,560	副賞(盾・文房具)																																																														
消耗品費	16,000	5,778	賞状用紙、コピー代																																																														
合計	193,000	110,338																																																															

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計
事業名		4	二十歳の集い						所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	今年度二十歳を迎える方						総合計画における位置づけ		
								⑧こどもが健やかに育つまちづくり		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
	意図 (対象をどうするか)	町全体で祝うことで、対象者の郷土に対する思いが高まっている。						根拠法令・要綱等		
								名称	国民の祝日に関する法律	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/323AC1000000178	
								名称		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	同級生や地域の方と出会うことで、地域間のつながりの再確認ができ、Uターンや定住の意識づけができる。 青年団や高校生サークルの姿や、とっとり花回廊で実施することで、ふるさと南部町の魅力の再発見につながる。						URL		
								URL		
名称										
URL										
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	決算増減の理由		執行率の理由		
		818,864 円	825,572 円	6,708 円	0.8 %					
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減					
		971 千円	1,086 千円	115 千円	11.8 %					
		本年度執行率	76.0 %							
【事業内容】 町として二十歳になる方をお祝いする式典を、とっとり花回廊で開催する。										
【決算の状況】 (計画) ○「二十歳の集い」実施 ・町主催による式典(会場:とっとり花回廊) ・祝辞、記念植樹、記念品贈呈など ○記念品 ・オリジナル図書カードを贈呈 ・式典当日の写真データを収めたDVDを後日送付 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・開催日時:令和8年1月11日(日) 午前11時30分から午後0時30分まで ・場所:とっとり花回廊 フラワードーム内 ・参加者数:98人(対象者数124人、参加率79%) ・来園された家族の方:138人(74家庭) ・恩師:2人(法勝寺中・南部中 各1人) ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ・会場借り上げの都合上、開催時間が1時間に限られており、近年は式典のみの開催となっている。 ・二十歳の方を中心とした実行委員会を立ち上げることができていない。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
							7 報償費	460,058	478,240	
							10 需用費	35,471	37,306	
							11 役務費	36,045	16,356	
							12 委託料	257,290	263,670	
							13 使用料及び賃借料	30,000	30,000	
	一般財源				818,864	825,572				
	計				818,864	825,572	計	818,864	825,572	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		二十歳を迎えた若者の姿を南部町教育の一つのゴール地点、義務教育後の一つの出口と考えることが重要である。引き続き、高校生サークル、新☆青年団のメンバーにもスタッフとして関わってもらう。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		南部町だからできる、南部町でしかできない内容を「とっとり花回廊」という会場条件も踏まえて検討していく。							
	解決すべき課題への方策		近年、実行委員会が参画できていないため、事業の目的、内容等を再検討し、簡素化も必要である。							

事業名	4	二十歳の集い	所属名	人権・社会教育課																																				
(2)活動上の実績 広報なんぶ2月号1～5ページ ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ・式典内でふるさと納税返礼品抽選会を行ったことで南部町を離れていても地域貢献できることをPRすることができ、会場も盛り上がった。 ○恩田さくら和牛 3人 ○パッチェリービージェラートセット 3人 ○0からコーヒー研究所ドリップパックセット 3人 ・記念品として、オリジナルボールペンを贈呈した。 ・当日のスナップ写真はDVDを再生するパソコン等を持っていない方が多いため、今年度からダウンロード形式とした。 ・例年、出欠確認は往復はがきとしていたが、町の公式ラインから回答する方法としたことで事務の簡略化につながった。(電話申込は数件) ・フラワードーム内には家族の方は入場できないため、YouTubeによる生配信とアーカイブ配信を行った。 ○視聴数:1,028回(1月11日から1月25日まで) ・高校生サークルは前日準備、当日受付、抽選会の司会を行った。 ・新☆青年団は大判焼きをふるまった。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 出欠確認は公式ラインで回答してもらったが、当日の受付は例年通り名簿にマーカーをする方法としたため、オンラインチェックイン等の検討が必要である。 ○予算執行状況 単位:円 <table><tr><th>費目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>内容</th></tr><tr><td rowspan="3">報償費</td><td rowspan="3">641,000</td><td rowspan="3">478,240</td><td>記念品ボールペン(今井印刷) 159,500</td></tr><tr><td>抽選会(なんぶ里山デザイン機構、PCB、0からコーヒー研究所) 43,740</td></tr><tr><td>記念写真webページ(D-MAGIC) 275,000</td></tr><tr><td rowspan="3">消耗品費</td><td rowspan="3">44,000</td><td rowspan="3">37,306</td><td>看板(山陰コピーサービス) 10,780</td></tr><tr><td>記念植樹(とっとり花回廊) 19,800</td></tr><tr><td>事務用品 6,726</td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>62,000</td><td>16,356</td><td>開催通知郵送料</td></tr><tr><td>筆耕翻訳料</td><td>20,000</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>その他の委託料</td><td>289,000</td><td>263,670</td><td>機器レンタル(カナリア総合システム)</td></tr><tr><td>使用料</td><td>30,000</td><td>30,000</td><td>とっとり花回廊施設使用料</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,086,000</td><td>825,572</td><td></td></tr></table> 青年団による大判焼きのふるまいは、青年団の会計にて実施のため、予算には含まれない。  式典の様子  ふるさと納税返礼品抽選会の様子 22 ページ					費目	予算額	決算額	内容	報償費	641,000	478,240	記念品ボールペン(今井印刷) 159,500	抽選会(なんぶ里山デザイン機構、PCB、0からコーヒー研究所) 43,740	記念写真webページ(D-MAGIC) 275,000	消耗品費	44,000	37,306	看板(山陰コピーサービス) 10,780	記念植樹(とっとり花回廊) 19,800	事務用品 6,726	通信運搬費	62,000	16,356	開催通知郵送料	筆耕翻訳料	20,000	0		その他の委託料	289,000	263,670	機器レンタル(カナリア総合システム)	使用料	30,000	30,000	とっとり花回廊施設使用料	合計	1,086,000	825,572	
費目	予算額	決算額	内容																																					
報償費	641,000	478,240	記念品ボールペン(今井印刷) 159,500																																					
			抽選会(なんぶ里山デザイン機構、PCB、0からコーヒー研究所) 43,740																																					
			記念写真webページ(D-MAGIC) 275,000																																					
消耗品費	44,000	37,306	看板(山陰コピーサービス) 10,780																																					
			記念植樹(とっとり花回廊) 19,800																																					
			事務用品 6,726																																					
通信運搬費	62,000	16,356	開催通知郵送料																																					
筆耕翻訳料	20,000	0																																						
その他の委託料	289,000	263,670	機器レンタル(カナリア総合システム)																																					
使用料	30,000	30,000	とっとり花回廊施設使用料																																					
合計	1,086,000	825,572																																						

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計	
事業名			5	アートスタート推進事業					所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		町内の文化芸術活動団体、未就学児とその保護者の方					総合計画における位置づけ			
								④心豊かな自律した子どもの育成			
								「4つの挑戦」から見た位置づけ			
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)			
								根拠法令・要綱等			
	意図 (対象をどうするか)		町内の文化芸術活動団体の支援をし、作品鑑賞の機会を町民へ提供することができている。 未就学児とその保護者の方が質の高い芸術に触れる機会をもつことができている。					名称	鳥取県アートスタート活動支援事業補助金交付要綱		
								URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/789229/youkou2025.pdf		
								名称	南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金国府要綱		
								URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000691.html		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		町内芸術活動団体の活動を支援することができる。また、子どもたちの豊かな感性や想像力を育むことができ、芸術鑑賞の楽しさなど、生活のなかに文化・芸術を根付かせるきっかけとなる。					名称			
URL											
決算増減の理由								執行率の理由			
前年度比較		前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		非該当	非該当
		300,000 円		300,000 円		0 円		0.0 %			
		前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減			
		300 千円		300 千円		0 千円		0.0 %			
								本年度執行率	100.0 %		
【事業内容】 子どもの潜在的な可能性を引き出し、豊かな感性と創造性を育むことを目的に、町内の団体と連携し、未就学児を対象とした人形劇などの公演鑑賞等を提供する。 (県の補助金は間接補助であり、補助割合は1/2(上限10万)) 【決算の状況】 (計画) ○補助金 【補助金名】南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金(事業名:アートスタートin南部町2025) 【交付目的】幼児期に質の高い本物の芸術にふれることにより、子どもたちの豊かな感性を育める事業実施について支援するため。 【交付団体】おはなし・ドン 会場:すみれこども園、さくら保育園 【入場者数】120人(未就学児110人、大人10人) 【予算額】300,000円 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・町内の身近な場所で幼児期の子どもたちに質の高い本物の芸術に触れてもらう機会の提供につながった。また、未就学児と保護者の方には、芸術鑑賞の楽しさを知ってもらうことができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ・未就園児とその保護者の方へ周知不足な部分があった。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 公演の実施団体への補助を行い活動支援ができた。 【実施団体】おはなし・ドン R7.11.20(木) すみれこども園 R7.11.21(金) さくら保育園 【入場者数】106人(未就学児103人、大人3人) 【補助実績額】300,000円 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 未就園児へのPR不足により、参加数が見込より少なかった。											
(歳入内訳 単位:円)						(歳出内訳 単位:円)					
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
15-2-6-2		アートスタート活動支援事業補助金			100,000	100,000	18 負担金補助及び交付金		300,000	300,000	
		一般財源			200,000	200,000					
		計			300,000	300,000	計		300,000	300,000	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		アートスタートは、親子の触れ合いや子どもの感性を育む点で効果があり、今後も継続的に実施していく必要がある。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		実施団体や関係機関との連携を図るとともに、未就園児やその保護者が参加しやすい場所、内容などを考慮し開催していく。								
	解決すべき課題への方策		実施団体の努力で事業運営ができているが、団体を構成する会員の高齢化も進んでいるため、事業運営の方法等を検討していく必要がある。								

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計	
事業名		6	家庭教育推進事業						所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	子育て世代	乳幼児期から成人期まで一貫したプログラムを基にした学びの場や子育て不安の解消に向けた相談の場を提供することにより、家庭の教育力が向上している。						総合計画における位置づけ		
									⑧こどもが健やかに育つまちづくり		
									「4つの挑戦」から見た位置づけ		
									②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
	意図 (対象をどうするか)	保護者へのきめ細かい支援の充実とアウトリーチ型の支援など、切れ目のない継続的な家庭教育の支援体制を構築することで、安心して地域で子育てをすることができる。	根拠法令・要綱等						名称	教育基本法	
									URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html	
									名称	児童福祉法	
									URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/322AC0000000164	
	成果の視点 (どのような効果があるか)								名称		
									URL		
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	決算増減の理由		執行率の理由			
		738,087 円	809,104 円	71,017 円	9.6 %						
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
		1,061 千円	1,357 千円	296 千円	27.9 %						
		本年度執行率			59.6 %						
【事業内容】 ○親子での触れ合い遊びや参加した家庭同士での仲間づくりを推進する。 ○家庭教育の支援と充実を図るため、乳幼児期から成人期まで一貫した「学びと成長のファイル」を基にした切れ目のない学びの場や子育て不安の解消に向けた相談の場を提供し、家庭における教育力向上を図る。 ○小学校入学に対する不安を払拭するため、家庭教育支援チームによる訪問型の家庭支援の体制を整備する。 また、小学校入学後も定期的に相談や集うことができる場所を整備する。 (家庭教育支援事業補助金の活用 補助率 県2/3・町1/3) 【決算の状況】 (計画) ○仲間づくりの推進 ・「みんな集まれ！あそぼう広場」年3回開催 委託先:スポnetなんぶ 委託料:128,500円 ・木育フェスティバルの開催し、親子で木にふれる機会を提供する。 ○学びの提供 ・家庭教育を広く啓発するための動画を作成 ・子育てセミナー:保育園・こども園保護者(4回実施)、こども発達支援セミナー:保育園・こども園(8回実施) ○相談 ・関係機関と連携した教育相談の実施 ・小学1年生の全58家庭に戸別家庭訪問を実施。7チームに分かれて全家庭を訪問。 ○「かぞくの日」 ・家族へ贈る漢字一文字(小学6年生及びその家族) ・いっしょに作ろう！親子レシピの作成 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
15-2-6-2	家庭教育支援事業補助金				431,000	510,000	7 報償費	319,290	239,669		
							8 旅費	62,780	93,920		
							10 需用費	145,846	175,715		
							11 役務費	3,921	6,300		
							12 委託料	206,250	293,500		
	一般財源				307,087	299,104					
	計				738,087	809,104	計	738,087	809,104		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		町が目指す「心豊かで自律した子どもの育成」への包括的な取り組みとして位置づけ、より保護者・家庭に寄り添った子育て支援・家庭教育支援を展開していく。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		関係機関と連携し、保護者の子育て不安の解消に向けた学びや相談の場を提供していくとともに、より寄り添った家庭教育支援として戸別家庭訪問を位置づけ実施する。								
	解決すべき課題への方策		戸別家庭訪問がより有効的に機能していくよう保護者とのつながり作りの場を作るよう検討する。また、家庭教育支援チーム員の資質向上及び人材養成を継続する。								

事業名	6	家庭教育推進事業	所属名	人権・社会教育課																																																						
(実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 長年の取り組みが評価され、令和7年度「家庭教育支援チーム」の活動推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞。2月6日に文部科学省で行われた授賞式に2人が出席した。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 スマイルカフェを行うことによって、小学1年生以外の家庭にも出会う機会が創出できたが、中学生とその家庭にはアプローチできていない。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○仲間づくりの推進 ・「みんな集まれ！あそぼう広場」年3回開催 委託先:スポnetなんぶ 委託料:128,500円 開催実績 <table><tr><th>回数</th><th>開催日</th><th>内容</th><th>家庭数</th><th>人数</th></tr><tr><td>1</td><td>6月1日</td><td>ピザづくり</td><td>9</td><td>23</td></tr><tr><td>2</td><td>6月29日</td><td>プール遊び</td><td>8</td><td>16</td></tr><tr><td>3</td><td>11月2日</td><td>ウォークラリー</td><td>32</td><td>100</td></tr></table> ・木育フェスティバルの開催 開催日:8月10日(日) 開催場所:キナルなんぶ 開催内容:ワークショップを開催(35人参加) つみきあそび、木のおうちストラップ作り、モルック体験ブックスタンド作り、木の絵本、おもちゃコーナー ○学びの提供 ・子育てセミナー 3回実施(計96人) ・こども発達支援セミナー 4回実施(計92人) ○相談 ・家庭教育支援チーム(教育委員会事務局職員6人と訪問支援員9人 計15人) ・小学1年生の全家庭を訪問。事後アンケートの結果はすべての在宅家庭で肯定的評価であった。 1回目(3月):58軒訪問(うち不在3軒) 2回目(5月):58軒訪問(うち不在3軒) 3回目(9月):58軒訪問(うち不在4軒) ・3つの小学校の懇談の日(1・2学期のみ)に保護者が気軽に集うことができる「スマイルカフェ」を実施した。 1学期:43家庭46人 2学期:39家庭42人 ・2月6日に開催された全国家庭教育支援研究協議会は2人が現地、4人がオンライン受講した。 ・訪問時に子どもたちに親しみが出るよう、家庭教育支援チームのロゴマークとチーム員が着用するジャケットを作成した。 ○「かぞくの日」 ・家族へ贈る漢字一文字:71家庭が参加 生涯学習作品展、てま里、キナルなんぶ南部っ子ストリートで展示を行った。 ・いっしょにつくろうワンプレートクッキング 12月15日(日)キナルなんぶで開催。3組6人が参加、南部町楽食クラブと共催して実施した。 ○予算執行状況 単位:円 <table><tr><th>費目</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>内容</th></tr><tr><td rowspan="2">報償費</td><td rowspan="2">434,000</td><td rowspan="2">239,669</td><td>戸別家庭訪問支援員謝金 143,185</td></tr><tr><td>各種セミナー講師謝金 96,484</td></tr><tr><td rowspan="2">普通旅費</td><td rowspan="2">107,000</td><td rowspan="2">93,920</td><td>講師旅費 7,400</td></tr><tr><td>文部科学大臣表彰授賞式(東京)2人 86,520</td></tr><tr><td rowspan="4">消耗品費</td><td rowspan="4">176,000</td><td rowspan="4">175,715</td><td>スマイルカフェ、親子レシポ 9,494</td></tr><tr><td>木工教室・木育フェスティバル 12,212</td></tr><tr><td>漢字一文字 35,379、啓発グッズ 26,765</td></tr><tr><td>チーム員着用ジャケット15枚 85,800 その他 6,065</td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>11,000</td><td>6,300</td><td>各種案内郵送料</td></tr><tr><td rowspan="2">その他の委託料</td><td rowspan="2">629,000</td><td rowspan="2">293,500</td><td>みんな集まれ！あそぼう広場(スポnetなんぶ) 128,500</td></tr><tr><td>ロゴマーク作成(D-MAGIC) 165,000</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,357,000</td><td>809,104</td><td></td></tr></table> ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ・なんぶSANチャンネルで番組が制作されたため、啓発動画は委託しなかった。					回数	開催日	内容	家庭数	人数	1	6月1日	ピザづくり	9	23	2	6月29日	プール遊び	8	16	3	11月2日	ウォークラリー	32	100	費目	予算額	決算額	内容	報償費	434,000	239,669	戸別家庭訪問支援員謝金 143,185	各種セミナー講師謝金 96,484	普通旅費	107,000	93,920	講師旅費 7,400	文部科学大臣表彰授賞式(東京)2人 86,520	消耗品費	176,000	175,715	スマイルカフェ、親子レシポ 9,494	木工教室・木育フェスティバル 12,212	漢字一文字 35,379、啓発グッズ 26,765	チーム員着用ジャケット15枚 85,800 その他 6,065	通信運搬費	11,000	6,300	各種案内郵送料	その他の委託料	629,000	293,500	みんな集まれ！あそぼう広場(スポnetなんぶ) 128,500	ロゴマーク作成(D-MAGIC) 165,000	合計	1,357,000	809,104	
回数	開催日	内容	家庭数	人数																																																						
1	6月1日	ピザづくり	9	23																																																						
2	6月29日	プール遊び	8	16																																																						
3	11月2日	ウォークラリー	32	100																																																						
費目	予算額	決算額	内容																																																							
報償費	434,000	239,669	戸別家庭訪問支援員謝金 143,185																																																							
			各種セミナー講師謝金 96,484																																																							
普通旅費	107,000	93,920	講師旅費 7,400																																																							
			文部科学大臣表彰授賞式(東京)2人 86,520																																																							
消耗品費	176,000	175,715	スマイルカフェ、親子レシポ 9,494																																																							
			木工教室・木育フェスティバル 12,212																																																							
			漢字一文字 35,379、啓発グッズ 26,765																																																							
			チーム員着用ジャケット15枚 85,800 その他 6,065																																																							
通信運搬費	11,000	6,300	各種案内郵送料																																																							
その他の委託料	629,000	293,500	みんな集まれ！あそぼう広場(スポnetなんぶ) 128,500																																																							
			ロゴマーク作成(D-MAGIC) 165,000																																																							
合計	1,357,000	809,104																																																								



款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計
事業名		7	高校生サークル魅力化事業						所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	当該サークルに所属する高校生等						総合計画における位置づけ		
								⑥生涯学習の推進		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
								根拠法令・要綱等		
	意図 (対象をどうするか)	3年間の活動を通して、地域への愛着と誇りを持ち、地域を支える次世代のリーダーとなるような人材に成長している。						名称	社会教育法	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/324AC0000000207	
								名称	南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金交付要綱	
								URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000691.html	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	・新一年生が新規加入することで、サークル活動がより活性化される。 ・町内だけでなく、町外から南部町を見つめ直すことで地域への愛着や誇りを持つことができる。						名称		
URL										
決算増減の理由								執行率の理由		
非該当								非該当		
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		85.2 %			
	1,079,719 円	1,277,862 円	198,143 円	18.4 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	1,800 千円	1,500 千円	△ 300 千円	△ 16.7 %						
【事業内容】 「高校はないけど、高校生はいる！」をスローガンに、青少年教育の一環として「南部町高校生サークルWith you 翼」が自主的・自発的に行う研修や交流の活動を支援することで、地域への愛着と誇りを持つ次世代のリーダーとなる人材を育成する。 【決算の状況】 (計画) ・高校生サークル魅力化事業補助金(南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金) 交付目的:スーパーゴールデンウィーク事業や韓国研修、地域貢献活動を実施するため。 交付先:南部町子ども会育成連絡協議会(ジュニアサークルとして位置付けられているため) 予算額:1,500,000円 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・中学校の卒業式の前日、中学3年生に対し、高校生サークルのメンバーが自分たちの言葉で活動内容や活動に参加してよかったことなどを話し、10人の新規加入があった。 ・韓国研修に参加した生徒からは、海外から見た南部町の良さを改めて実感できた、もっと英語を習得しなければいけないと感じたなどの声があった。 ・高校生サークルを卒業したメンバー4人が新☆青年団へんtoづくりに引き続き加入したことで、継続的に活動を行う人材を育成することができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 高校3年間という活動の時間が制約されるため、高校生自身が企画から運営まで計画するような主体的な活動に取り組むまでに至っていない。										
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)					
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
18-2-4-1	さくら基金繰越金		1,079,719	1,277,862	18 負担金補助及び交付金	1,079,719	1,277,862			
	一般財源		0	0						
	計		1,079,719	1,277,862	計	1,079,719	1,277,862			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		持続可能な地域づくりの基盤として、次世代のリーダーとなる高校生が地域で活躍することのできる事業を継続するとともに、高校卒業後も継続して南部町に関わっていく人材を育成する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	町内での活動だけでなく、県外・国外でも活動を行うことで、改めて南部町の良さを見直すきっかけとなり、地域への愛着や誇り(シビックプライド)を持ちながら、高校生サークルの活動を通して、南部町の魅力を発信していく。								
	解決すべき課題への方策	より主体的な活動が展開できるよう、高校生自身が考え、活動ができるよう働きかけていく。								

事業名	7	高校生サークル魅力化事業	所属名	人権・社会教育課																																											
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 補助金交付額:1,277,862円 (総支出額1,468,692円から諸収入190,830円を除いた額を補助) 活動実績 <table><tr><td>項目</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>高校生サークル加入者数</td><td>36人</td><td>33人</td><td>33人</td></tr><tr><td>年間活動数</td><td>67回</td><td>34回</td><td>32回</td></tr><tr><td>参加のべ人数</td><td>256人</td><td>129人</td><td>144人</td></tr></table> 土日や長期休業に集中して活動を行うことで、参加をしやすくしている。1回あたり平均4.5名が参加している。 ○活動数32回のうちの主な活動内容 ・4/5～6 さくらまつり(さくら餅の販売) ・5/2 スーパーゴールデンウィーク事業(詳細は下部に記載) ・7/7 ハンリム大学生と交流会 ・7/20 トライアスロンボランティア(エイドステーション) ・7/27～30 韓国研修(詳細は下部に記載) ・11/3 国際交流フェスティバルボランティア(ブース運営) ・1/11 二十歳の集いボランティア(受付・抽選会の司会) ・2/7 わんぱくリーダー塾(そり遊び・スキーの指導) ・3/7～8 広島県生涯学習実践交流会・平和学習 ・3/9 中学3年生新規勧誘(南部中・法勝寺中) ・3/13 新温泉町の高校生との交流会(詳細は下部に記載) ○スーパーゴールデンウィーク事業 【日程】令和7年5月2日(金) 【参加者】高校生9人(高校生以外にも中学生を含む46人のボランティアスタッフが運営をサポート) 【内容】体験的学習活動等休業日の小学生や中学生に楽しんでもらうため、バルーンアートやスーパーボールすくいなどのブースを運営した。キナルなんぶ136人、いこい荘93人の来場者があった。 ○韓国研修 【日程】令和7年7月27日(日)から7月30日(水)まで 【参加者】高校生6人、引率2人 【内容】 ・保護者と参加者を対象とした事前説明会を2回、参加者を対象とした事前学習会を2回実施し、米子市国際交流員の方と南部町出身でソウル在住の方を講師に招き、文化やマナー、韓国語を学んだ。 ・ハンリム大学の学生5人がホームステイに来られた際に交流会を行い、おすすめスポットを紹介しあった。 ・韓国では事前学習をしていただいた南部町出身の方と、ハンリム大学の卒業生で本町にインターンシップをしていた方の2人に現地を案内をしてもらい、各所にはどういう背景があるかなどを教えてもらいながら巡ることで、より深く韓国の文化や生活を知ることができた。 【韓国での研修先】 ・景福宮 ・国立民俗博物館 ・北村韓屋村(韓服体験) ・国立中央博物館 ・ロッテワールドタワー 【展示物の掲示(成果報告)】 ・11/3 よなご国際交流フェスティバル(米子市文化ホール) ・11/29～30 生涯学習作品展(農業者トレーニングセンター) ・2/25～3/10 南部っ子ストリート展示(キナルなんぶ) ○兵庫県新温泉町の高校生との交流会 【日程】令和8年3月13日(金) 【参加者】新温泉町の高校生6人、本町の高校生6人 【内容】新温泉町の高校生が本町の高校生サークルや新☆青年団の活動を学ぶため「わかもの☆つながるキャンプ」を実施し、てま里でトークセッションや手巻き寿司作りを通じて交流を行った。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 部活動や大学受験、アルバイトなど、多忙な生徒が多く、当日ボランティアにとどまり、企画運営まで行うことができていない。			項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	高校生サークル加入者数	36人	33人	33人	年間活動数	67回	34回	32回	参加のべ人数	256人	129人	144人	補助金の内訳 <table><tr><td>項目</td><td>予算額</td><td>決算額</td></tr><tr><td>報償費</td><td>202,500</td><td>160,380</td></tr><tr><td>旅費</td><td>1,160,000</td><td>971,205</td></tr><tr><td>需用費</td><td>145,500</td><td>163,422</td></tr><tr><td>役務費</td><td>0</td><td>10,560</td></tr><tr><td>保険料</td><td>0</td><td>41,360</td></tr><tr><td>使用料</td><td>0</td><td>1,400</td></tr><tr><td>食糧費</td><td>200,000</td><td>120,365</td></tr><tr><td>計</td><td>1,708,000</td><td>1,468,692</td></tr></table>		項目	予算額	決算額	報償費	202,500	160,380	旅費	1,160,000	971,205	需用費	145,500	163,422	役務費	0	10,560	保険料	0	41,360	使用料	0	1,400	食糧費	200,000	120,365	計	1,708,000	1,468,692
			項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																									
高校生サークル加入者数	36人	33人	33人																																												
年間活動数	67回	34回	32回																																												
参加のべ人数	256人	129人	144人																																												
項目	予算額	決算額																																													
報償費	202,500	160,380																																													
旅費	1,160,000	971,205																																													
需用費	145,500	163,422																																													
役務費	0	10,560																																													
保険料	0	41,360																																													
使用料	0	1,400																																													
食糧費	200,000	120,365																																													
計	1,708,000	1,468,692																																													
高校生サークルのInstagramはこちら→  WITHYOU.TUBASA  韓服体験の様子  ハンリム大学生との交流  新温泉町との交流																																															

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	会計名	一般会計																																																																					
事業名		8	青年団活性化事業						所属名	人権・社会教育課																																																																					
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	18歳以上40歳未満の本町在住もしくは町内勤務の方						総合計画における位置づけ																																																																							
								⑥生涯学習の推進																																																																							
								「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																							
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																																																							
	意図 (対象をどうするか)	新☆青年団へんtoづくりに所属し、地域社会とのつながりを発展・継続させるような主体的活動を行う人材及び団体となっている。						根拠法令・要綱等																																																																							
								名称	社会教育法																																																																						
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/324AC0000000207																																																																						
								名称	南部町社会教育関係団体等活動支援補助金交付要綱																																																																						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	・地域活動を通して、若者の力で地域を盛り上げる。 ・他団体との交流を通して、自分たちに必要なことや不足していることを考え、実行する力を身に付ける。						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000691.html																																																																						
								名称																																																																							
URL																																																																															
決算増減の理由								執行率の理由																																																																							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		67.5 %																																																																								
	914,097 円	269,814 円	△ 644,283 円	△ 70.5 %																																																																											
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																																																											
	980 千円	400 千円	△ 580 千円	△ 59.2 %																																																																											
【事業内容】 教育振興基本計画の「めざす子ども像と社会の姿」の一つである「心をつなぎ 未来を拓くひとづくり」による重点施策として、次代の町を担う人材の育成をもとに、南部町新☆青年団「へんtoづくり」に研修及び交流の機会を与え、多角的な視点を持つ人材を育成する。 【決算の状況】 (計画) ○補助金 ・青年団活性化事業補助金(南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金) 交付目的:他団体交流事業、レクリエーション事業、地域活動事業を実施するため。 交付先:南部町新☆青年団 予算額:400,000円 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 毎月の定例会でやることを決め、担当制にして活動を行っている。高校生サークルの卒業生が青年団に移行し、進学や就職しても、休日や帰省中に合わせて継続して活動を行っている。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 進学や就職で鳥取県から転出することや、結婚・出産などのライフステージで活動が途切れてしまうことで、継続的に活動を行うことができていない。																																																																															
(歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>18-2-4-1</td><td>さくら基金繰入金</td><td>914,097</td><td>269,814</td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>914,097</td><td>269,814</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>914,097</td><td>269,814</td><td>計</td><td>914,097</td><td>269,814</td></tr></table>										款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	18-2-4-1	さくら基金繰入金	914,097	269,814	18 負担金補助及び交付金	914,097	269,814																																												一般財源	0	0					計	914,097	269,814	計	914,097	269,814
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																									
18-2-4-1	さくら基金繰入金	914,097	269,814	18 負担金補助及び交付金	914,097	269,814																																																																									
	一般財源	0	0																																																																												
	計	914,097	269,814	計	914,097	269,814																																																																									
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		先進的な活動を行っている団体との交流を継続し、行政に頼らない主体的な団体への変容を目指す。																																																																												
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																														
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		様々な団体や機関から連携に向けた声掛けがある中で、青年団自体の目的を見失うことなく、活動の幅を広げていく。																																																																												
	解決すべき課題への方策		活動に参加する団体が固定化しているため、高校生サークルとして積極的に活動をしていた高校生が卒業後も引き続き青年団として地域で活躍するような人材を育成する。																																																																												

事業名	8	青年団活性化事業	所属名	人権・社会教育課
-----	---	----------	-----	----------

(2)活動上の実績

①実施出来たこと(活動実績)とその理由

補助金交付額:269,814円

活動実績

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
加入者数	69人	78人	77人
活動数	83回	47回	37回
参加のべ人数	356人	200人	112人

○活動数37回のうちの主な活動内容

・4/5～6 さくらまつり(大判焼きの販売)

・5/2 スーパーゴールデンウィーク事業

・7/31 天萬神社水無月さん(子ども相撲の行司)

・8/9 小松谷盆踊り会場準備

・夏休み中 中学校夏休み学習ボランティア

・12/22 ゆきあそび&ドッジボール大会(詳細は下部に記載)

・1/11 二十歳の集い(大判焼きのふるまい)

・2/7 わんぱくリーダー塾(そり遊び・スキーの指導)

・2/28～3/1 高知県青年団協議会との交流会(詳細は下部に記載)

・3/14 法勝寺一式飾り制作(新温泉町の高校生と共同制作)

(通年) スマホ教室(デジタルリーダー)

さつまいもづくり

定例会

○ゆきあそび&ドッジボール大会

【日程】令和7年12月20日(土)

【会場】西伯小学校体育館・グラウンド

【参加者】

【スタッフ】青年団員2人、事務局1人、高校生サークル3人、アドバイザー1人、補助1人

【内容】当日積雪がなかったため、雪遊びはできず、ドッジボール大会と宝探し大会を行った。小・中学生とその保護者27人が参加し、自然と中学生が小学生にドッジボールを教える姿が見られた。

○他団体交流事業

【日程】令和8年2月28日(土)から3月1日(日)まで

【参加者】青年団員2人、事務局1人

【内容】徳島県石井町とのマッチングができず、新たな交流先として高知県青年団協議会と交流を行った。相互の活動紹介として、高知県からは南海トラフ地震の津波危険地域となるエリアの避難道の竹林整備やよさこい踊り、蕁焼き体験を教えてもらい、本町の青年団員からは太極拳の演武を披露した。高知県を参考に活動スキームやルールを作成した。

○地域活動事業

・さつまいもづくり

安納芋とパープルスweetの2種類を栽培し、さつまいも餡を作り、大判焼きの販売を行った。

・法勝寺一式飾り制作

3月14日(土)に兵庫県新温泉町の高校生6人とともに竹細工一式で「川のヌシ 大山椒魚」を制作した。

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由

77人が団員として登録しているが、実際に活動に参加する団員が固定化している。

新☆青年団へんtoづくりのInstagramはこちら→





ゆきあそび&ドッジボールの参加者



高知県で竹林整備を体験



オオサンショウウオを制作

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	会計名	一般会計																																																																																					
事業名		1	南部町公民館運営費						所属名	人権・社会教育課																																																																																					
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	施設を利用する方と施設							総合計画における位置づけ																																																																																						
									⑥生涯学習の推進																																																																																						
									「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																						
									②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																																																																						
									根拠法令・要綱等																																																																																						
	意図 (対象をどうするか)	施設管理を適切に行うことにより、利用者が学びの場として活用している。							名称	社会教育法																																																																																					
									URL	https://elaws.jp/view/324AC0000000207																																																																																					
									名称	南部町公民館条例																																																																																					
									URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000560.html																																																																																					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	公民館活動の場、各種会議等として幅広く利用されている。また、施設の維持管理を行うことにより公民館機能を維持することにつながる。							名称	南部町複合施設条例																																																																																					
URL									https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000960.html																																																																																						
決算増減の理由									執行率の理由																																																																																						
施設修繕が増えたため									非該当																																																																																						
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率	89.5 %																																																																																					
	1,049,695 円		1,534,375 円		484,680 円		46.2 %																																																																																								
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減																																																																																								
	1,137 千円		1,715 千円		578 千円		50.8 %																																																																																								
【事業内容】 ○公民館における各種事業の企画・実施について、公民館運営審議会を開催し検証する。 ○施設・備品の維持管理に必要な措置を講じる。 ○全国公民館研究集会に参加する。 (R6年度 9-4-2-4公民館運営審議会委員報酬を統合) 【決算の状況】 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 様々な事業を企画し、地域住民へ提供することができた。また、学びの場である施設を適切に維持管理することができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 日常的な操作や利用者の状況把握が不十分なところがあり、備品、施設等の修繕に費用がかかった。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○公民館運営審議会 8名(男5名、女3名) 任期:R6年6月1日～R8年5月31日 第1回;R7.7.2 6人 第2回;R7.10.15 6人 第3回;R7.11.25 5人 第4回;R8.1.27 5人 第5回;R8.3.4 5人 計 5回開催 今後の公民館運営に関する提言を頂くことができた。 公民館運営審議会 提言書 (歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>13-1-5-2</td><td>公民館使用料</td><td>703,240</td><td>529,570</td></tr><tr><td>20-5-5-1</td><td>公民館コピー使用料</td><td>1,710</td><td>5,336</td></tr><tr><td>20-5-5-1</td><td>キナルなんぶ使用料納付書送料</td><td>1,468</td><td>1,320</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>343,277</td><td>998,149</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>1,049,695</td><td>1,534,375</td></tr></table> (歳出内訳 単位:円) <table><tr><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>1 報酬</td><td>83,700</td><td>72,900</td></tr><tr><td>8 旅費</td><td>0</td><td>94,897</td></tr><tr><td>10 需用費</td><td>60,646</td><td>428,402</td></tr><tr><td>11 役務費</td><td>56,789</td><td>87,616</td></tr><tr><td>12 委託料</td><td>816,200</td><td>816,200</td></tr><tr><td>13 使用料及び賃借料</td><td>30,360</td><td>30,360</td></tr><tr><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>2,000</td><td>4,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>1,049,695</td><td>1,534,375</td></tr></table> 今後に向けて <table><tr><td>①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td>地域課題や生活課題の把握を行い、その解決につながるような事業を展開するような運営を行う。また、施設設備は保守点検等を適切に行い、常時利用可能な状態を維持していく。</td></tr><tr><td colspan="2">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成出来た点をさらに伸ばす方策</td><td>運営審議会からの提言をもとに、地域住民の生涯学習の場として、町内の関係機関と連携した事業を行っていく。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>運営審議会の提言を踏まえ、公民館活動を通しての学びを地域に還元するような事業を進められるよう、研修等により研鑽を積む。</td></tr></table>											款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	13-1-5-2	公民館使用料	703,240	529,570	20-5-5-1	公民館コピー使用料	1,710	5,336	20-5-5-1	キナルなんぶ使用料納付書送料	1,468	1,320																						一般財源	343,277	998,149		計	1,049,695	1,534,375	節	前年度決算額	本年度決算額	1 報酬	83,700	72,900	8 旅費	0	94,897	10 需用費	60,646	428,402	11 役務費	56,789	87,616	12 委託料	816,200	816,200	13 使用料及び賃借料	30,360	30,360	18 負担金補助及び交付金	2,000	4,000							計	1,049,695	1,534,375	①今後の事業全体の方向性とその内容	地域課題や生活課題の把握を行い、その解決につながるような事業を展開するような運営を行う。また、施設設備は保守点検等を適切に行い、常時利用可能な状態を維持していく。	②次年度へ向けた次への行動・具体策		達成出来た点をさらに伸ばす方策	運営審議会からの提言をもとに、地域住民の生涯学習の場として、町内の関係機関と連携した事業を行っていく。	解決すべき課題への方策	運営審議会の提言を踏まえ、公民館活動を通しての学びを地域に還元するような事業を進められるよう、研修等により研鑽を積む。
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額																																																																																												
13-1-5-2	公民館使用料	703,240	529,570																																																																																												
20-5-5-1	公民館コピー使用料	1,710	5,336																																																																																												
20-5-5-1	キナルなんぶ使用料納付書送料	1,468	1,320																																																																																												
	一般財源	343,277	998,149																																																																																												
	計	1,049,695	1,534,375																																																																																												
節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																													
1 報酬	83,700	72,900																																																																																													
8 旅費	0	94,897																																																																																													
10 需用費	60,646	428,402																																																																																													
11 役務費	56,789	87,616																																																																																													
12 委託料	816,200	816,200																																																																																													
13 使用料及び賃借料	30,360	30,360																																																																																													
18 負担金補助及び交付金	2,000	4,000																																																																																													
計	1,049,695	1,534,375																																																																																													
①今後の事業全体の方向性とその内容	地域課題や生活課題の把握を行い、その解決につながるような事業を展開するような運営を行う。また、施設設備は保守点検等を適切に行い、常時利用可能な状態を維持していく。																																																																																														
②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																															
達成出来た点をさらに伸ばす方策	運営審議会からの提言をもとに、地域住民の生涯学習の場として、町内の関係機関と連携した事業を行っていく。																																																																																														
解決すべき課題への方策	運営審議会の提言を踏まえ、公民館活動を通しての学びを地域に還元するような事業を進められるよう、研修等により研鑽を積む。																																																																																														

事業名	1	南部町公民館運営費	所属名	人権・社会教育課																																																																
単位:円 <table><tr><td>細節</td><td>予算額</td><td>決算額</td><td>内容</td></tr><tr><td>非常勤等報酬</td><td>122,000</td><td>72,900</td><td>公民館運営審議会委員報酬 @2,700/人</td></tr><tr><td>普通旅費</td><td>96,000</td><td>94,897</td><td>全国公民館研究集会参加2名92,397、公民館教室講師旅費2,500</td></tr><tr><td>需用費 消耗品費</td><td>46,000</td><td>45,382</td><td>コピー代金他</td></tr><tr><td>施設修繕料</td><td>357,500</td><td>357,500</td><td>まんてんホール観覧席部品交換(KSS株式会社)137,500 天萬庁舎3F倉庫修繕(有限会社増田工務店)220,000</td></tr><tr><td>備品修繕料</td><td>112,000</td><td>25,520</td><td>まんてんホール手摺台車等25,520</td></tr><tr><td>役務費 通信運搬費</td><td>120,000</td><td>78,156</td><td>郵送料22,056、電話料金56,100</td></tr><tr><td>手数料</td><td>9,500</td><td>9,460</td><td>ピアノ調律(大出ピアノサービス)9,460</td></tr><tr><td>委託料 保守点検委託料</td><td>355,000</td><td>354,200</td><td>まんてんホール保守点検委託料(KSS株式会社)354,200</td></tr><tr><td>その他委託料</td><td>462,000</td><td>462,000</td><td>キナル予約システム利用料(株)パストラーレ)462,000</td></tr><tr><td>借上料</td><td>31,000</td><td>30,360</td><td>複合機リース(ケイズ)21,120、モップレンタル(ユカロン)9,240</td></tr><tr><td>負担金補助及び交付金</td><td>4,000</td><td>4,000</td><td>鳥取県公民館連合会負担金</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,715,000</td><td>1,534,375</td><td></td></tr></table> ○第47回全国公民館研究集会 東京2日間 2人分旅費、宿泊費 ○富有まんてんホールの維持管理 委託先:KSS株式会社 内容:電動式観覧席保守点検 【予算額】 355,000円 ○キナルなんぶ予約システムの保守委託 委託先:株式会社パストラーレ 内容:予約システム利用 【予算額】 462,000円 ○第47回全国公民館研究集会 東京2日間 2人分旅費、宿泊費 10/12～10/13開催 ○富有まんてんホールの維持管理 委託先:KSS株式会社 内容:電動式観覧席保守点検 【委託額】 354,200円 ○キナルなんぶ予約システムの保守委託 委託先:株式会社パストラーレ 内容:予約システム利用 【委託額】 462,000円 公民館利用実績 <table><tr><td>年度</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>17,822</td><td>17,732</td><td>16,042</td></tr><tr><td>回数(回)</td><td>1,430</td><td>1,609</td><td>1,485</td></tr></table> ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 夏の選挙期間、年明けの地震対応等、ホール、会議室が利用できない期間があり、R6年度と比較して利用人数が減少している。					細節	予算額	決算額	内容	非常勤等報酬	122,000	72,900	公民館運営審議会委員報酬 @2,700/人	普通旅費	96,000	94,897	全国公民館研究集会参加2名92,397、公民館教室講師旅費2,500	需用費 消耗品費	46,000	45,382	コピー代金他	施設修繕料	357,500	357,500	まんてんホール観覧席部品交換(KSS株式会社)137,500 天萬庁舎3F倉庫修繕(有限会社増田工務店)220,000	備品修繕料	112,000	25,520	まんてんホール手摺台車等25,520	役務費 通信運搬費	120,000	78,156	郵送料22,056、電話料金56,100	手数料	9,500	9,460	ピアノ調律(大出ピアノサービス)9,460	委託料 保守点検委託料	355,000	354,200	まんてんホール保守点検委託料(KSS株式会社)354,200	その他委託料	462,000	462,000	キナル予約システム利用料(株)パストラーレ)462,000	借上料	31,000	30,360	複合機リース(ケイズ)21,120、モップレンタル(ユカロン)9,240	負担金補助及び交付金	4,000	4,000	鳥取県公民館連合会負担金	合計	1,715,000	1,534,375		年度	R5	R6	R7	人数(人)	17,822	17,732	16,042	回数(回)	1,430	1,609	1,485
細節	予算額	決算額	内容																																																																	
非常勤等報酬	122,000	72,900	公民館運営審議会委員報酬 @2,700/人																																																																	
普通旅費	96,000	94,897	全国公民館研究集会参加2名92,397、公民館教室講師旅費2,500																																																																	
需用費 消耗品費	46,000	45,382	コピー代金他																																																																	
施設修繕料	357,500	357,500	まんてんホール観覧席部品交換(KSS株式会社)137,500 天萬庁舎3F倉庫修繕(有限会社増田工務店)220,000																																																																	
備品修繕料	112,000	25,520	まんてんホール手摺台車等25,520																																																																	
役務費 通信運搬費	120,000	78,156	郵送料22,056、電話料金56,100																																																																	
手数料	9,500	9,460	ピアノ調律(大出ピアノサービス)9,460																																																																	
委託料 保守点検委託料	355,000	354,200	まんてんホール保守点検委託料(KSS株式会社)354,200																																																																	
その他委託料	462,000	462,000	キナル予約システム利用料(株)パストラーレ)462,000																																																																	
借上料	31,000	30,360	複合機リース(ケイズ)21,120、モップレンタル(ユカロン)9,240																																																																	
負担金補助及び交付金	4,000	4,000	鳥取県公民館連合会負担金																																																																	
合計	1,715,000	1,534,375																																																																		
年度	R5	R6	R7																																																																	
人数(人)	17,822	17,732	16,042																																																																	
回数(回)	1,430	1,609	1,485																																																																	

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	会計名	一般会計
事業名		2	公民館活動事業						所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民	総合計画における位置づけ ④心豊かな自律した子どもの育成 「4つの挑戦」から見た位置づけ ②教育に挑戦(子育て・教育のまち) 根拠法令・要綱等							
	意図 (対象をどうするか)	発表できる場を提供している。また、生涯学習の楽しさや地域の魅力を知って頂く機会となっている。	名称		社会教育法					
			URL		https://blhrri.org/old/library/hourei/0026.pdf					
			名称		南部町公民館条例					
			URL		https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000560.html					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	全世代が参加できる生涯学習の場や、成人を対象とした社会教育の場を年間を通して提供することができ、地域での人づくりや課題解決のヒントを得ることができる。	名称		南部町立公民館規則					
			URL		https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000227.html					
決算増減の理由				執行率の理由						
非該当				非該当						
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率	86.1 %
	513,762 円		576,775 円		63,013 円		12.3 %			
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減			
	479 千円		670 千円		191 千円		39.9 %			
【事業内容】 ○各種公民館教室の開催及び公民館学級(ことぶき大学、ひょうしぎ学級)を開催し、生涯学習の場を提供する。 ○学習の成果発表の場を設け、個人が学んだ成果を地域に還元する。										
【決算の状況】 (実績) (1)成果上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 町内の社会教育委員や文化財保護審議委員が、一部公民館教室の講師となり、地域の魅力に気づく機会をつくることできた。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 30代～40代からのニーズ把握ができず、その世代が参加するような講座の企画にならなかった。 (計画) ○公民館教室、公民館学級の参加者募集、活動を確保。 ・ことぶき大学(高齢者学級) 全9回 ・ひょうしぎ学級(女性学級) 全8回 ・公民館教室 34教室 (2)活動上の実績 ○公民館学級の開催 ことぶき大学 全9回・学生38人・のべ160人 ひょうしぎ学級 全8回・学生54人・のべ178人 講師謝金@5,000×9回＝45,000円 ○公民館教室の開催 公民館教室数 34学級 なんでも探偵団 全23回・中学生3人・のべ72人 講師謝金@1,130×39.5時間＝44,635円 ○ロビー展示 24回 なんぶっ子ストリート 19回 南部町公民館1階ロビー 4回										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額
14-2-1-1		デジタル田園都市国家構想交付金			167,636	287,708	7 報償費		337,700	305,845
15-2-6-2		土曜日等の教育活動実施事業費補助金			51,000	0	8 旅費		6,260	38,499
							10 需用費		82,827	68,969
							13 使用料及び賃借料		0	88,000
							18 負担金補助及び交付金		86,975	75,462
		一般財源			295,126	289,067				
		計			513,762	576,775	計		513,762	576,775
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		地域や住民の生活課題を的確に捉え、その課題解決につながる事業展開を行う。住民が公民館での学びを伝えていけるようコーディネートする。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		地域で活躍している人材を講師として迎えることができた。今後も地域で活躍できる人材育成し、活躍の場を身近な場所に作っていく。							
	解決すべき課題への方策		実施団体の努力で事業運営ができていますが、団体を構成する会員の高齢化も進んでいるため、事業運営の方法等を検討していく必要がある。							

事業名	2	公民館活動事業	所属名	人権・社会教育課
○小学生の夏休み体験教室や成人向け事業を実施。 ○夏休み体験教室10教室 ○みになる楽校パティシエ教室 ○全世代向け企画2講座 ○公民館まつり及び生涯学習作品展の開催。 ・公民館さくらまつり 1回 ・生涯学習学習展 1回 ○ふれあいチャリティー芸能大会、ほっとハートコンサートの開催(実行委員会への参画) 南部町社会教育関係団体等活動支援事業補助金 ・ふれあいチャリティー芸能大会補助金 交付先:ふれあいチャリティー芸能大会実行委員会 予算額:40,000円 ・ほっとハートコンサート補助金 交付先:ほっとハートコンサート実行委員会 予算額:105,000円				
○夏休み体験教室11教室 短歌教室 全1回・2人参加 ハンドメイド教室 全2回・23人参加 写真教室 全2回・10人 絵画教室 全1回・25人 夏休みニコニコ体験教室 7教室55人参加 ○みになる楽校(旧:土曜日の教育支援) 日本の文化 全4回・30人参加 焚火名人 全5回・10人参加 パティシエ教室 全5回・43人参加 講師謝金@5,000×14回=70,000円 ○町民向け講座(新規) ちまきづくり教室 全1回・16人参加 写経体験 全1回・17人参加 講師謝金@5,000×2回=10,000円 (一般参加も可能にし、参加者同士の新たな交流が生まれた。) ○公民館まつり、生涯学習作品展の開催 さくらまつり 4月5日(土) 生涯学習作品展 11月29日(土)・11月30日(日) 55団体575点を展示 来場者数715人 (南部町再発見!とし、ふるさとへの想いを再発見できる機会を創出した。) ○ふれあいチャリティー芸能大会、ほっとハートコンサートの開催(実行委員会への参画) 交付先:ふれあいチャリティー芸能大会実行委員会 交付額:40,000円 8月2日(土)開催:総合福祉センターいこい荘 25組出演 交付先:ほっとハートコンサート実行委員会 交付額:35,462円 12月13日(土)開催:キナルなんぶ多目的ルーム 6組出演 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 30代から40代には保護者としての参加はあったが、一般の町民からの参加は少なかった。				

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費	会計名	一般会計
事業名		1-1	文化財保護事業						所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	文化財	総合計画における位置づけ							
			⑦歴史・文化およびスポーツの振興							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			②教育に挑戦(子育て・教育のまち)							
	意図 (対象をどうするか)	文化財を通じて郷土への理解と愛着が深まり、地域文化の振興が図られている。	根拠法令・要綱等							
			名称	文化財保護法						
			URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/325AC0100000214/						
			名称	南部町文化財保護条例						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域の貴重な文化財が適切に保存・継承されている。	URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000250.html?id=j8						
			名称	南部町文化財保存管理費補助金交付要綱						
URL			https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000251.html							
決算増減の理由			執行率の理由							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		80.5 %			
	1,900,851 円	1,416,681 円	△ 484,170 円	△ 25.5 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	2,625 千円	1,759 千円	△ 866 千円	△ 33.0 %						

【事業内容】

○文化財保護審議会を開催し、審議、適宜助言をいただく。任期: 令和6年10月1日～令和8年9月30日

○文化財、特別天然記念物等の保護、管理を適正に行う。埋蔵文化財包蔵地において、必要な試掘調査を実施する。

○なんぶふれあい館運用管理(オオサンショウウオ飼育、展示ガイド、資料整理など)を行う。

○町指定文化財の保護・管理のために草刈り等の管理作業を行う地区や個人に対し補助金交付する。

○無形民俗文化財の保存・継承のため、保存会活動を支援する補助金を交付する。

○文化財関係団体との連携をはかり、必要な作業・業務を実施する。

(オオサンショウウオ関連:なんぶハンザキ調査隊)

【決算の状況】

単位:円

細 節	予算額	決算額	内 容
報酬	38,000	32,400	文化財保護審議会委員報酬(年2回)
報償費	166,000	128,390	なんぶふれあい館展示品謝金(桐原真希)100,000、白山本地仏像借用謝礼(賀祥区)15,000
普通旅費	73,000	0	
消耗品費	114,000	67,859	コピー代金、PPC用紙、なんぶふれあい館消耗品
光熱水費	23,000	19,692	電気代9,208、水道料金11,880
通信運搬費	11,000	4,440	郵便料金
手数料	100,000	90,200	廃棄物処理(三光株式会社)99,000
施設管理委託料	185,000	184,800	電車ひろば防犯カメラ(大同警備保障)184,800
その他の委託料	360,000	359,900	展示品メンテナンス(東田電工)119,900、特別天然記念物等保護(なんぶハンザキ調査隊)240,000、
その他補助金	689,000	529,000	町文化財保存管理費補助129,000、指定文化財管理400,000
合計	1,759,000	1,416,681	

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
17-1-3-1	企業版ふるさと納税	200,000	0	1 報酬	35,100	32,400
18-2-4-1	さくら基金繰入金	746,900	0	7 報償費	65,000	128,390
				8 旅費	67,325	0
				10 需用費	126,900	87,551
				11 役務費	95,576	94,640
				12 委託料	585,050	544,700
				14 工事請負費	746,900	0
	一般財源	953,951	1,416,681	18 負担金補助及び交付金	179,000	529,000
	計	1,900,851	1,416,681	計	1,900,851	1,416,681

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

町指定文化財は集落・保存会・個人など様々な方が保存・伝承し、文化財保護の啓発を行っている。なんぶふれあい館を活用し、文化財保護の啓発を行う。文化財保護のため、適時、適切な対応を行う。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成出来た点をさらに伸ばす方策

文化財の今後の活用方法について検討し、中期的な計画を検討する。

解決すべき課題への方策

文化財資料の整理と同時に収蔵場所の検討をすすめる。文化財全般において情報発信を充実させるよう、掲載情報の検討を行う。

事業名	1-1	文化財保護事業	所属名	人権・社会教育課
(実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 指定文化財の保護のための補助金等を確保し、 保存・伝承団体を支援できた。 文化財の一部が整理、収蔵できた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 啓発に有効な文化財情報(媒体)が少ないため、 町民に周知できていない。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 (実績) ○文化財保護審議会 回数:2回 委員任期:令和6年10月1日～令和8年9月30日 2,700円×7人×2回＝37,800円 ○なんぶふれあい館運営管理 展示10回 ○法勝寺電車ジオラマメンテナンス業務 委託先:東田電工 委託内容:ジオラマ清掃・調整(年4回) ○法勝寺電車ひろば管理 法勝寺電車展示場監視カメラシステム委託業務 委託先:大同警備保障有限会社 委託内容:監視カメラシステムによる警備 ○特別天然記念物等保護事業(オオサンショウウオほか) 特別天然記念物等保護事業委託 委託先:なんぶハンザキ調査隊 委託内容:オオサンショウウオの保護・啓発事業 ○県及び町指定文化財保護のための補助金の交付 (史跡8件、名勝1件、天然記念物4件、保護文化財6件) 南部町文化財保存管理費補助金 交付目的:文化財保護のため管理・状況報告をする。 交付先:個人(5)、団体・集落(7) 予算額:169,000円 ○県及び町指定文化財保存会活動補助金の交付 指定文化財管理費補助金(小松谷盆踊保存会) 交付目的:伝統文化の継承を目的とした管理を行う。 交付先:小松谷盆踊保存会 予算額:50,000円 指定文化財管理費補助金(法勝寺一式飾り) 交付目的:文化財の継承を目的とした管理を行う。 交付先:法勝寺宿自治会 予算額:350,000円 ○南部町指定文化財件数 26件 史跡 8件 名勝 1件 天然記念物 3件 保護文化財 12件 無形民俗文化財 2件 ○文化財保護審議会 板祐生記念館の運営やなんぶふれあい館の活性化についての意見が交わされ、地元作家の展示やSNSを活用し地域住民の誘致策などが話し合われ、具体的な施策の提案がなされた。(年2回) ○なんぶふれあい館運営管理 展示10回 里地里山のコーナー展示 桜、ブッポウソウ、ヒガンバナ、梨、 オオサンショウウオ等町のお宝を季節ごとに展示 ○法勝寺電車ジオラマメンテナンス業務 委託先:東田電工 委託金額:119,900円 委託内容:ジオラマ清掃・調整(年4回) ○法勝寺電車ひろば管理 法勝寺電車展示場監視カメラシステム委託業務 委託先:大同警備保障有限会社 委託金額:184,800円 委託内容:監視カメラシステムによる警備 ○特別天然記念物等保護事業 (オオサンショウウオほか) 特別天然記念物等保護事業委託 委託先:なんぶハンザキ調査隊 委託金額:240,000円 委託内容:オオサンショウウオの保護・啓発事業 ○南部町文化財保存管理費補助金(個人2・集落7) 南部町文化財保存管理費補助金 交付先:個人(2)、団体・集落(7) 交付額:129,000円 ○県及び町指定文化財保存会活動補助金の交付 指定文化財管理費補助金(小松谷盆踊保存会) 交付先:小松谷盆踊保存会 交付額:50,000円 指定文化財管理費補助金(法勝寺一式飾り) 交付先:法勝寺宿自治会 交付額:350,000円 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 文化財資料が数か所に分けて保管されているため、 資料照会や借用依頼の対応に時間がかかる。				

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費	会計名	一般会計
事業名		2	板祐生記念館活動事業						所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	南部町板祐生記念館	総合計画における位置づけ							
			⑦歴史・文化およびスポーツの振興							
			「4つの挑戦」から見た位置づけ							
			②教育に挑戦(子育て・教育のまち)							
	意図 (対象をどうするか)	板祐生の貴重な孔版画の作品と収集品を保存・展示して、広く一般に公開されている。	根拠法令・要綱等							
			名称	社会教育法						
			URL	https://blhri.org/old/library/hourei/0026.pdf						
			名称	南部町祐生出合いの館条例						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	特別展・企画展を中心に来館者を増やし、教育・学術文化の振興に資する。	URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000231.html						
			名称							
URL										
決算増減の理由			執行率の理由							
非該当			非該当							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減						
	5,080,969 円	4,967,806 円	△ 113,163 円	△ 2.2 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減	本年度執行率	85.5 %				
	5,308 千円	5,808 千円	500 千円	9.4 %						
【事業内容】 ○板祐生のコレクションの一般公開(常設展及び入替え)及び他館・他者との連携による特別展の開催 ○板祐生の研究と所蔵品の修復作業 ○来館者のニーズ把握及びサービスの向上 【決算の状況】										
単位:円										
細 節	予算額	決算額	内 容							
消耗品費	437,000	319,615	コピー代金、印刷機トナー他							
燃料費	85,000	27,800	冬季灯油代金							
印刷製本費	944,240	594,198	ポスター・チラシ(10展示)、館案内印刷							
光熱水費	1,555,000	1,392,793	電気代1,380,913、水道料11,880							
施設修繕料	497,750	497,750	ロビー、展示室エアコン修理427,900、誘導灯取替69,850							
通信運搬費	275,000	274,456	ポスター・チラシ郵送料176,733、電話代97,723							
広告料	186,000	141,075	山陰広域MAP掲載料(山陰広域マップ制作協議会)9,075、スポット料(DARAZコミュニティ放送)22,000、ラジオ広告料(山陰放送)110,000							
手数料	14,000	13,100	浄化槽法定検査(鳥取県保健事業団)							
火災保険料	195,000	194,709	建物災害共済継続委託分担金(鳥取県町村会)							
保守点検委託料	326,000	324,900	自家用電気工作物保安管理業務(前田電気)150,000 浄化槽維持管理業務(みつわ環境開発)48,400、消防用設備法定点検料(上田商事)126,500							
施設管理委託料	488,000	467,280	警備(北陽警備)277,200、浄化槽清掃(みつわ衛生社)190,080							
その他の委託料	509,000	466,730	掛軸修復(井原装飾)433,730、ポスター複製(青光社)33,000							
借上料	194,000	192,720	AED(鳥取医療器)35,640、複合機(衣笠商会)86,790 マット・モップレンタル(ユカロン)63,360							
使用料	99,760	58,680	インターネット利用料金40,920、ウイルスバスター更新17,760							
その他負担金	2,000	2,000	鳥取県ミュージアムネットワーク負担金2,000							
合計	5,807,750	4,967,806								
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
13-1-5-2	板祐生記念館活使用料		542,710	488,520	7 報償費	15,000	0			
18-2-4-1	さくら基金繰入金		1,385,540	0	10 需用費	2,852,976	2,832,156			
20-5-5-1	板祐生記念グッズ代		200	2,100	11 役務費	626,703	623,340			
20-5-5-1	板祐生記念館収入金		89	34	12 委託料	1,316,660	1,258,910			
					13 使用料及び賃借料	267,630	251,400			
					18 負担金補助及び交付金	2,000	2,000			
	一般財源		3,152,430	4,477,152						
	計		5,080,969	4,967,806	計	5,080,969	4,967,806			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		板祐生の記念館として祐生の研究推進。あり方検討会や、個別施設計画をもとに館の今後のあり方について検討していく必要がある。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	企画展を実施することによって、収蔵物の活用ができた。祐生館外の場所でPRを図る。								
	解決すべき課題への方策	館運営の方針、修繕について、収蔵物のデジタルアーカイブ化なども視野に入れサービスの提供の検討を行う。町民に足を運んでいただけるよう親しみやすい企画を検討する。								

事業名	2	板祐生記念館活動事業	所属名	人権・社会教育課
(実績) (1) 成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・企画展・特別展を実施し、収蔵物の活用、他者との連携が図れた。 ・設備機器の修繕を早急に行い、利用者に対し安全で安心して利用できる環境を整備できた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ・来館者へのニーズ把握を行い展示の見直し等、ニーズに合ったものにしていく必要がある。 ・紙媒体だけではなくSNSを活用し、企画展等の宣伝を行う。 (2) 活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○特別展・企画展の開催 特別展 7企画 「生田眞の表現法-4種の版画展」 「内藤和美パッチワークキルト展」等 企画展 5企画 「マッチラベル展」 「満州国資料展」他 入館者数 2,900人(参考・令和6年度3,060人) ○広報PR 広報なんぶへの記事の掲載(4月～3月) 「山陰広域観光マップ」掲載(年1回) BSSラジオ(年2回) ダラズFM(年2回) ○保守点検委託料 自家用電気工作物保安管理業務委託 委託先:前田電気管理事務所 委託内容:電気設備の安全を守るために点検や検査を行う 浄化槽維持管理業務 委託先:みつわ環境開発(株) 委託内容:浄化槽の維持管理 消防用設備点検委託 委託先:上田商事 委託内容:消防設備の点検 機械警備委託 委託先:北陽警備保障 委託内容:施設の機械警備 浄化槽清掃委託 委託先:みつわ衛生社 委託内容:浄化槽の清掃 ○その他の委託料 板祐生記念館掛軸修復業務 委託先:井原装飾 委託内容:掛軸の修復(7点) ポスター複製委託業務 委託先:(有)青光社 委託内容:ポスターの複製(10点) ○負担金 鳥取県ミュージアムネットワーク負担金 鳥取県ミュージアムネットワーク負担金 負担金を出した効果:県内博物館・美術館・歴史民俗資料館・考古資料館等と連携し、保存と活用等の情報共有ができる。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ・施設の老朽化により収蔵物の保存が適切に行えない。 ・専門家などには高く評価されているが、地元収集物の価値を広げられていない。				

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	4	同和教育振興費	会計名	一般会計																																																																																																								
事業名		1	進学奨励金支給事業						所属名	人権・社会教育課																																																																																																								
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	経済的理由で進学、通学が困難な町内の高校生、大学生				総合計画における位置づけ																																																																																																												
						⑤人権が大黒柱のまちづくり																																																																																																												
						「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																												
						②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																																																																																												
						根拠法令・要綱等																																																																																																												
	意図 (対象をどうするか)	奨学金を支給することで、進学や通学の機会が保証されている。				名称	南部町における部落差別はじめあらゆる差別をなくす条例																																																																																																											
						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000317.html																																																																																																											
						名称	南部町進学奨励金交付要綱																																																																																																											
						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000524.html																																																																																																											
	成果の視点 (どのような効果があるか)	対象者の把握と広報等を通した制度の周知を行い、進学・通学への支援を行う。				名称																																																																																																												
URL																																																																																																																		
決算増減の理由						執行率の理由																																																																																																												
非該当						非該当																																																																																																												
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度 執行率	99.8 %																																																																																																												
	3,387,502 円	3,296,050 円	△ 91,452 円	△ 2.7 %																																																																																																														
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																																																																																														
	3,389 千円	3,302 千円	△ 87 千円	△ 2.6 %																																																																																																														
【事業内容】 経済的理由で進学・通学に困難を抱えている町内の高校生・大学生を対象に奨学金の支給を行う。 【決算の状況】 (計画) ○ 通信運搬費 14,000 円 ○ その他補助金 3,288,000 円 高校生(高専・専攻科生を含む) 19人× 6,000円×12ヶ月=1,368,000円 大学生(短大・専修学校生を含む) 16人×10,000円×12ヶ月=1,920,000円 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 奨励金の意義を対象者に伝え、その方々の就学に係る経済的負担を軽減した。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ほぼ書面決定であり、一部対象者に、支給の意義が伝わっていない。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 通信運搬費 8,050 円 ○ その他補助金 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">令和5年度</th><th colspan="2">令和6年度</th><th colspan="2">令和7年度</th></tr><tr><th>交付人数(人)</th><th>交付額(円)</th><th>交付人数(人)</th><th>交付額(円)</th><th>交付人数(人)</th><th>交付額(円)</th></tr><tr><td>高校生</td><td>26</td><td>1,872,000</td><td>20</td><td>1,440,000</td><td>19</td><td>1,368,000</td></tr><tr><td>大学生</td><td>17</td><td>1,773,000</td><td>18</td><td>1,944,000</td><td>16</td><td>1,920,000</td></tr><tr><td>合計</td><td>43</td><td>3,645,000</td><td>38</td><td>3,384,000</td><td>35</td><td>3,288,000</td></tr></table> ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 支給決定後に、奨学金の支給意義を伝える学習会を開催するが、その対象者に対して参加者が少ない。 (歳入内訳 単位:円) <table><tr><th>款-項-目-節</th><th>科 目 名 称</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th><th>節</th><th>前年度決算額</th><th>本年度決算額</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11 役務費</td><td>3,502</td><td>8,050</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>3,384,000</td><td>3,288,000</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>3,387,502</td><td>3,296,050</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>3,387,502</td><td>3,296,050</td><td>計</td><td>3,387,502</td><td>3,296,050</td></tr></table> 今後に向けて <table><tr><td>①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td>広報活動等での周知を図りながら、対象者への支援を継続する。</td></tr><tr><td colspan="2">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成出来た点をさらに伸ばす方策</td><td>関係機関等と連携を図り、制度の周知に努める。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>支給決定後に行う、対象者へ奨学金の意図や今後の進路に活かせる学習会を継続しながら、意識啓発を引き続き行い、より多くの参加があるよう内容などを工夫する。</td></tr></table>											令和5年度		令和6年度		令和7年度		交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)	高校生	26	1,872,000	20	1,440,000	19	1,368,000	大学生	17	1,773,000	18	1,944,000	16	1,920,000	合計	43	3,645,000	38	3,384,000	35	3,288,000	款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額					11 役務費	3,502	8,050					18 負担金補助及び交付金	3,384,000	3,288,000																														一般財源	3,387,502	3,296,050					計	3,387,502	3,296,050	計	3,387,502	3,296,050	①今後の事業全体の方向性とその内容	広報活動等での周知を図りながら、対象者への支援を継続する。	②次年度へ向けた次への行動・具体策		達成出来た点をさらに伸ばす方策	関係機関等と連携を図り、制度の周知に努める。	解決すべき課題への方策	支給決定後に行う、対象者へ奨学金の意図や今後の進路に活かせる学習会を継続しながら、意識啓発を引き続き行い、より多くの参加があるよう内容などを工夫する。
	令和5年度		令和6年度		令和7年度																																																																																																													
	交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)	交付人数(人)	交付額(円)																																																																																																												
高校生	26	1,872,000	20	1,440,000	19	1,368,000																																																																																																												
大学生	17	1,773,000	18	1,944,000	16	1,920,000																																																																																																												
合計	43	3,645,000	38	3,384,000	35	3,288,000																																																																																																												
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																												
				11 役務費	3,502	8,050																																																																																																												
				18 負担金補助及び交付金	3,384,000	3,288,000																																																																																																												
	一般財源	3,387,502	3,296,050																																																																																																															
	計	3,387,502	3,296,050	計	3,387,502	3,296,050																																																																																																												
①今後の事業全体の方向性とその内容	広報活動等での周知を図りながら、対象者への支援を継続する。																																																																																																																	
②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																																		
達成出来た点をさらに伸ばす方策	関係機関等と連携を図り、制度の周知に努める。																																																																																																																	
解決すべき課題への方策	支給決定後に行う、対象者へ奨学金の意図や今後の進路に活かせる学習会を継続しながら、意識啓発を引き続き行い、より多くの参加があるよう内容などを工夫する。																																																																																																																	

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	5	図書館費	会計名	一般会計																																																																					
事業名		1	図書館施設管理等運営事業						所属名	人権・社会教育課																																																																					
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①法勝寺図書館、天萬図書館 ②図書館職員、図書館を利用される方						総合計画における位置づけ																																																																							
								⑥生涯学習の推進																																																																							
								「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																							
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																																																							
								根拠法令・要綱等																																																																							
	意図 (対象をどうするか)	①図書館内の設備を不備のないように維持する。 ②職員が業務に集中できる環境を整え、図書館を利用される方に快適に過ごしていただけるようにする。						名称	図書館法																																																																						
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000118/																																																																						
								名称	南部町立図書館運営規則																																																																						
								URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000241.html																																																																						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	図書館運営協議会で様々な背景を持つ方々の意見を取り入れ、図書館運営に活かすことができる。 図書館を快適な状態に保つことで利用を促進することができる。						名称	視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律																																																																						
URL								https://laws.e-gov.go.jp/law/501AC0100000049/																																																																							
決算増減の理由								執行率の理由																																																																							
非該当								非該当																																																																							
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	本年度執行率		96.4 %																																																																								
	2,379,737 円	2,442,572 円	62,835 円	2.6 %																																																																											
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減																																																																											
	2,558 千円	2,533 千円	△ 25 千円	△ 1.0 %																																																																											
【事業内容】 ○図書館運営協議会の開催 ○各種研修会 ○施設管理(消耗品購入) ○図書館用品の購入(天萬図書館棚板) ○郵便料支払い ○業務委託 ○各種会費(日本図書館協会等) ○マット・モップリース業務(天萬図書館)																																																																															
【決算の状況】 ●町内・町外別利用者数 単位(人) <table><tr><td></td><td>R6</td><td>R7</td><td>増減</td></tr><tr><td>町内</td><td>22,262</td><td>19,793</td><td>△2,469</td></tr><tr><td>町外</td><td>14,701</td><td>16,267</td><td>1,566</td></tr></table> ●年齢別利用者数 単位(人) <table><tr><td></td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>0～5歳</td><td>1,881</td><td>1,399</td></tr><tr><td>6～11歳</td><td>5,954</td><td>5,060</td></tr><tr><td>12～14歳</td><td>981</td><td>1,348</td></tr><tr><td>15～19歳</td><td>438</td><td>418</td></tr><tr><td>20代</td><td>1,023</td><td>880</td></tr><tr><td>30代</td><td>4,118</td><td>3,498</td></tr><tr><td>40代</td><td>5,435</td><td>6,526</td></tr><tr><td>50代</td><td>4,487</td><td>4,310</td></tr><tr><td>60代</td><td>5,254</td><td>4,950</td></tr><tr><td>70代以上</td><td>7,392</td><td>7,671</td></tr><tr><td>合計</td><td>36,963</td><td>36,060</td></tr></table>											R6	R7	増減	町内	22,262	19,793	△2,469	町外	14,701	16,267	1,566		R6	R7	0～5歳	1,881	1,399	6～11歳	5,954	5,060	12～14歳	981	1,348	15～19歳	438	418	20代	1,023	880	30代	4,118	3,498	40代	5,435	6,526	50代	4,487	4,310	60代	5,254	4,950	70代以上	7,392	7,671	合計	36,963	36,060																						
	R6	R7	増減																																																																												
町内	22,262	19,793	△2,469																																																																												
町外	14,701	16,267	1,566																																																																												
	R6	R7																																																																													
0～5歳	1,881	1,399																																																																													
6～11歳	5,954	5,060																																																																													
12～14歳	981	1,348																																																																													
15～19歳	438	418																																																																													
20代	1,023	880																																																																													
30代	4,118	3,498																																																																													
40代	5,435	6,526																																																																													
50代	4,487	4,310																																																																													
60代	5,254	4,950																																																																													
70代以上	7,392	7,671																																																																													
合計	36,963	36,060																																																																													
(歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1 報酬</td><td>78,300</td><td>64,800</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>8 旅費</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10 需用費</td><td>176,989</td><td>25,397</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11 役務費</td><td>28,268</td><td>22,835</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>12 委託料</td><td>1,786,400</td><td>2,204,400</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13 使用料及び賃借料</td><td>47,580</td><td>48,840</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>17 備品購入費</td><td>194,700</td><td>8,800</td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>2,379,737</td><td>2,442,572</td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>67,500</td><td>67,500</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>2,379,737</td><td>2,442,572</td><td>計</td><td>2,379,737</td><td>2,442,572</td></tr></table>										款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額					1 報酬	78,300	64,800					8 旅費	0	0					10 需用費	176,989	25,397					11 役務費	28,268	22,835					12 委託料	1,786,400	2,204,400					13 使用料及び賃借料	47,580	48,840					17 備品購入費	194,700	8,800		一般財源	2,379,737	2,442,572	18 負担金補助及び交付金	67,500	67,500		計	2,379,737	2,442,572	計	2,379,737	2,442,572
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																									
				1 報酬	78,300	64,800																																																																									
				8 旅費	0	0																																																																									
				10 需用費	176,989	25,397																																																																									
				11 役務費	28,268	22,835																																																																									
				12 委託料	1,786,400	2,204,400																																																																									
				13 使用料及び賃借料	47,580	48,840																																																																									
				17 備品購入費	194,700	8,800																																																																									
	一般財源	2,379,737	2,442,572	18 負担金補助及び交付金	67,500	67,500																																																																									
	計	2,379,737	2,442,572	計	2,379,737	2,442,572																																																																									
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		職員の専門性維持・資質向上のため、各種研修派遣を継続する。「暮らしに役立つ場」「知の拠点施設」として利用者の方にとって快適に利用していただける環境を整える。図書館運営協議会で得た知見を日々の運営に活かし、どなたにも利用しやすい図書館づくりに努める。																																																																												
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																														
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	情報発信について、本年度は更新頻度を増やしSNSやホームページでの発信を行うことで広い範囲にイベント等の周知を行うことが出来た。今後も月2回以上の更新を継続して取り組み、町内外へ向けた図書館の更なる魅力発信に繋げる。																																																																													
	解決すべき課題への方策	全体的に利用者数が減少しており、特に子どもとその親世代の減少への対策として、子ども向けやファミリー層へ向けた企画を考え、図書館、読書に親しむきっかけを作る取り組みを行う。																																																																													

事業名	1	図書館施設管理等運営事業	所属名	人権・社会教育課
(計画) ○図書館運営協議会の開催 - 委員任期令和6年6月から令和8年5月までの委員を委嘱する。 南部町立図書館運営協議会設置要綱第3条に記載する以下の者のなかから12名以内とする。 (1) 図書館長が推薦する図書館利用者 (2) 学識経験を有する者 (3) 公募委員3名以内 - 図書館運営協議会を年4回開催する。 運営協議会設置要綱第2条に記載のある下記事項について協議する。 (1) 図書館事業計画に関する事項 (2) 図書館の諸行事に関する事項 (3) 図書館利活用者の拡充に関する事項 (4) その他暮らしに役立つ図書館の実現に関する事項 ○各種研修会 図書館専門講座等 ○負担金 - 日本図書館協会会費 23,000円 研修会への参加 - 鳥取県図書館協会会費 4,500円 研修会への参加 - サピエ図書館利用料 40,000円 録音データのダウンロード (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○図書館運営協議会の開催 10名(男性4 女性6) - 図書館利用者 8名 - 学識経験者 1名 - 公募委員 1名 第1回 令和7年6月27日実施 8名(2名欠席) 6名×2,700＝16,200円 2名は教職員であるため報酬の支払いなし ・令和7年度図書館事業について 第2回 令和7年9月26日実施 9名(1名欠席) 7名×2,700＝18,900円 2名は教職員であるため報酬の支払いなし ・令和6年度年報・令和8年度図書館事業について 第3回 令和7年12月18日実施 4名(6名欠席) 4名×2,700＝10,800円 ・視察報告、図書館事業について 第4回 令和8年3月19日実施 7名(3名欠席) 7名×2,700＝18,900円 ・令和7年度図書館事業報告・令和8年度事業について ○各種研修会 専門講座 3回 他全8回 - 図書館専門講座で生成AIについての研修を受け、職員内で共有しAIについてのスキルを学んだことで日々の業務(POP、ポスター制作等)に活かすことが出来た。 ○負担金 - 日本図書館協会会費 23,000円 - 鳥取県図書館協会会費 4,500円 - サピエ図書館利用料 40,000円 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○負担金 - サピエ図書館の音声データによる録音図書の貸出が少なかった。1件申込があったが、その後の継続利用に繋がらなかった。理由として利用者の方が求める資料と提供した資料のイメージの相違があったことや、周知が不十分だったことなどが挙げられる。				

細節	予算額	決算額	内容
非常勤等報酬	108,000	64,800	図書館運営協議会委員謝金
普通旅費	18,000	0	図書館運営協議会委員旅費
消耗品費	26,000	25,397	除菌用品等
通信運搬費	50,000	22,835	郵便料金
保守点検委託料	2,204,400	2,204,400	図書館システム保守サポート料(ケイズ) 1,432,200円 図書館ICタグ機器保守料(ケイズ) 467,500円 図書館システム機器保守延長サポート料(ケイズ) 62,700円 図書館WEBサーバへのSSL証明書導入 242,000円 (流用あり)
借上料	49,000	48,840	天萬図書館モップ・マット賃借料
備品購入費	9,000	8,800	天萬図書館棚板 8,800円
その他負担金	68,000	67,500	日本図書館協会会費 23,000円 鳥取県図書館協会会費 4,500円 サピエ図書館会費 40,000円
合計	2,532,400	2,442,572	

細 節	予算額	決算額	内 容
非常勤等報酬	108,000	64,800	図書館運営協議会委員謝金
普通旅費	18,000	0	図書館運営協議会委員旅費
消耗品費	26,000	25,397	除菌用品等
通信運搬費	50,000	22,835	郵便料金
保守点検委託料	2,204,400	2,204,400	図書館システム保守サポート料(ケイズ) 1,432,200円 図書館ICタグ機器保守料(ケイズ) 467,500円 図書館システム機器保守延長サポート料(ケイズ) 62,700円 図書館WEBサーバへのSSL証明書導入 242,000円 (流用あり)
借上料	49,000	48,840	天萬図書館モップ・マット賃借料
備品購入費	9,000	8,800	天萬図書館棚板 8,800円
その他負担金	68,000	67,500	日本図書館協会会費 23,000円 鳥取県図書館協会会費 4,500円 サピエ図書館会費 40,000円
合 計	2,532,400	2,442,572	

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	5	図書館費	会計名	一般会計				
事業名		2	図書館資料整備事業						所属名	人権・社会教育課				
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	図書館を利用される方							総合計画における位置づけ					
									⑥生涯学習の推進					
									「4つの挑戦」から見た位置づけ					
									②教育に挑戦(子育て・教育のまち)					
									根拠法令・要綱等					
	意図 (対象をどうするか)	蔵書の充実、資料等の整備により、多様な情報を提供し、利用者の知識、見識を高める。							名称	図書館法				
									URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000118				
									名称	視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律				
									URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/501AC0100000049				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	多様な情報を提供することで図書貸出の増に繋がる。レファレンス件数の増加は、個々の課題解決へ繋がり、暮らしに役立つ図書館としての認知が広がる。							名称	南部町立図書館運営規則				
URL									https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000241.html					
決算増減の理由									執行率の理由					
非該当									非該当					
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率	99.7 %				
	10,307,829 円		9,404,416 円		△ 903,413 円		△ 8.8 %							
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減							
	10,308 千円		9,429 千円		△ 879 千円		△ 8.5 %							
【事業内容】 図書、雑誌、新聞、視聴覚資料など図書館資料について、出版情報誌、社会情勢、話題の本や利用者の方からのリクエスト等広く情報を収集しながら司書が選書し購入する。														
【決算の状況】 (実績) (1)成果上の実績 令和7年度の貸出冊数とレファレンス件数														
①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○ 法勝寺図書館のレファレンス件数は、昨年度の440件より40件増加し、求められる資料や情報の提供ができた。少しずつ、レファレンスへの認知が広がっているのではないかと考える。														
②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ○ 天萬図書館のレファレンス件数は、昨年度の403件より131件減となった。利用者の減に伴うものと、配架の見直しを行ったことによるクイックレファレンスの減も要因のひとつだと考える。 ○ 法勝寺図書館の貸出冊数は、昨年度の86,081冊から3,461冊の減、天萬図書館の貸出冊数は、昨年度の42,672冊から1,100冊の減となった。小学生以下の本の貸出が減になったことが大きい。特に法勝寺図書館はキナルなんぶへの小学生の来館は多いが、本の貸出へ繋がらなかった。														
(歳入内訳 単位:円)														
(歳出内訳 単位:円)														
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額		本年度決算額	
18-2-5-1		公共施設整備基金繰入金			1,000,000		1,000,000		10 需用費		1,280,324		1,247,075	
									12 委託料		34,980		0	
									17 備品購入費		8,992,525		8,157,341	
		一般財源			9,307,829		8,404,416							
		計			10,307,829		9,404,416		計		10,307,829		9,404,416	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		図書館資料は運営・サービスの要であり、質と鮮度が求められる。多くの方に利用していただくためにニーズの把握、社会情勢や話題等に鑑みながら蔵書の構築と充実を図るとともに、図書館ホームページでやテノヒラ役場の活用をすすめていく。											
	②次年度へ向けた次への行動・具体策													
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		求められる資料や情報に的確に応えていくために、レファレンス(問い合わせ)サービスとリクエストサービスがさらに活用されることを目指し、図書館ホームページを活用したレファレンス受付、テノヒラ役場を活用したリクエスト受付の周知を図る。											
	解決すべき課題への方策		小・中学生のニーズの把握を書籍の購入と棚づくりに活かし、利用の増へと繋げる。医学情報や法律、制度など、新しい情報を求められるものについて、情報の更新ができるように購入していく。											

事業名	2	図書館資料整備事業	所属名	人権・社会教育課																
(計画) ○ 新聞 各館4紙 法勝寺 日本海新聞、山陰中央新報 朝日新聞、日本経済新聞 天萬 日本海新聞、山陰中央新報 読売新聞、日本農業新聞 ○ 雑誌 法勝寺 39誌 天萬 39誌 ○ 書籍 法勝寺 2,600冊 天萬 2,600冊 視聴覚資料 図書装備 5,200冊 ○ 音声図書用CDプレーヤー 1台 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○ 新聞 各館4紙購入 法勝寺 日本海新聞、山陰中央新報 朝日新聞、日本経済新聞 天萬 日本海新聞、山陰中央新報 読売新聞、日本農業新聞 ○ 雑誌 法勝寺 38紙 天萬 36紙 ○ 書籍 法勝寺 2,413冊 天萬 2,330冊 ○ 視聴覚資料 法勝寺 17点 天萬 17点 ○ 図書装備 4,263冊 計画にある書籍の冊数は、前年度の購入平均単価で算出しており、実際の購入単価には幅があるため、実績の冊数の購入となった。 雑誌については、価格があがっているため、見直しをして、実績の種類の購入となった。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ○ 音声図書用CDプレーヤー購入なし。 利用状況を確認し、所有する台数で継続することとしたため。																				
単位:円																				
<table><tr><td>細節</td><td>予算額</td><td>決算額</td><td>内容</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>1,270,000</td><td>1,247,075</td><td>新聞 法勝寺4紙、天萬4紙(361,200) 雑誌 法勝寺38誌、天萬36誌(816,575) 新刊全点案内(69,300)</td></tr><tr><td>備品購入費</td><td>8,158,600</td><td>8,157,341</td><td>書籍 法勝寺2,413冊、天萬2,330冊(7,772,875) 視聴覚資料 法勝寺17点、天萬17点(299,206) 図書装備4,263冊(85,260)</td></tr><tr><td>計</td><td>9,428,600</td><td>9,404,416</td><td></td></tr></table>					細節	予算額	決算額	内容	消耗品費	1,270,000	1,247,075	新聞 法勝寺4紙、天萬4紙(361,200) 雑誌 法勝寺38誌、天萬36誌(816,575) 新刊全点案内(69,300)	備品購入費	8,158,600	8,157,341	書籍 法勝寺2,413冊、天萬2,330冊(7,772,875) 視聴覚資料 法勝寺17点、天萬17点(299,206) 図書装備4,263冊(85,260)	計	9,428,600	9,404,416	
細節	予算額	決算額	内容																	
消耗品費	1,270,000	1,247,075	新聞 法勝寺4紙、天萬4紙(361,200) 雑誌 法勝寺38誌、天萬36誌(816,575) 新刊全点案内(69,300)																	
備品購入費	8,158,600	8,157,341	書籍 法勝寺2,413冊、天萬2,330冊(7,772,875) 視聴覚資料 法勝寺17点、天萬17点(299,206) 図書装備4,263冊(85,260)																	
計	9,428,600	9,404,416																		

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	5	図書館費	会計名	一般会計																																																																						
事業名		5	図書館普及促進事業						所属名	人権・社会教育課																																																																						
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	図書館利用者、未利用者							総合計画における位置づけ																																																																							
									⑥生涯学習の推進																																																																							
									「4つの挑戦」から見た位置づけ																																																																							
									②教育に挑戦(子育て・教育のまち)																																																																							
									根拠法令・要綱等																																																																							
	意図 (対象をどうするか)	企画事業参加の機会を図書館利用へと繋げる。							名称	図書館法																																																																						
									URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000118																																																																						
									名称	視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律																																																																						
									URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/501AC0100000049																																																																						
	成果の視点 (どのような効果があるか)	幅広い年代へ向けた事業の実施により、新規利用者を増やし利用の増に繋げる。年代別貸出者数や新規登録者数で成果を測る。連携事業の視点を持ちながら事業実施に取り組む。							名称	南部町立図書館運営規則																																																																						
URL									https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000241.html																																																																							
決算増減の理由									執行率の理由																																																																							
非該当									非該当																																																																							
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率	97.4 %																																																																						
	874,349 円		683,478 円		△ 190,871 円		△ 21.8 %																																																																									
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減																																																																									
	933 千円		702 千円		△ 231 千円		△ 24.8 %																																																																									
【事業内容】 法勝寺、天萬図書館を会場に、年間を通じて幅広い年代を対象とした企画を実施することにより、図書館来館のきっかけをつくり、図書館の機能の周知、利用の促進と拡充を図る。																																																																																
【決算の状況】 (実績) (1)成果上の実績 新規登録者数 単位:人 <table><tr><td>法勝寺</td><td>天萬</td><td>合計</td></tr><tr><td>346</td><td>64</td><td>410</td></tr></table> 単位:人 <table><tr><td>全登録者数</td><td>R6新規登録者</td></tr><tr><td>8,728</td><td>481</td></tr></table> 年齢別貸出者数 単位:人 <table><tr><td>5歳以下</td><td>6～11歳</td><td>12～14歳</td><td>15～19歳</td><td>20代</td></tr><tr><td>1,399</td><td>5,060</td><td>1,348</td><td>418</td><td>880</td></tr></table> <table><tr><td>30代</td><td>40代</td><td>50代</td><td>60代</td><td>70以上</td></tr><tr><td>3,498</td><td>6,526</td><td>4,310</td><td>4,950</td><td>7,671</td></tr></table> 全体の貸出者数 単位:人 <table><tr><td>R6年度</td><td>R7年度</td></tr><tr><td>36,964</td><td>36,060</td></tr></table> ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・全体の貸出者数は前年度より減となったが、年齢別で見ると中学生、40代、70代以上は前年度より増となった。学校司書の町立図書館への異動により、中学生の来館が増え、ニーズを把握しやすくなったことが理由のひとつと考えられる。 ・図書館応援団なんぶらりーが設立され、自主事業の実施など図書館活性化の一躍を担うことができた。 ・文学講座や図書館応援団なんぶらりー主催の読書会など本に結び付く企画事業の開催も利用増につながったのではないかと考える。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ・前年度の新規登録者数の維持を目標としていたが71人の減となった。利用登録の制限があったことや小学1年生のオリエンテーションから図書館利用へうまく繋げることができなかったことなどが考えられる。											法勝寺	天萬	合計	346	64	410	全登録者数	R6新規登録者	8,728	481	5歳以下	6～11歳	12～14歳	15～19歳	20代	1,399	5,060	1,348	418	880	30代	40代	50代	60代	70以上	3,498	6,526	4,310	4,950	7,671	R6年度	R7年度	36,964	36,060																																				
法勝寺	天萬	合計																																																																														
346	64	410																																																																														
全登録者数	R6新規登録者																																																																															
8,728	481																																																																															
5歳以下	6～11歳	12～14歳	15～19歳	20代																																																																												
1,399	5,060	1,348	418	880																																																																												
30代	40代	50代	60代	70以上																																																																												
3,498	6,526	4,310	4,950	7,671																																																																												
R6年度	R7年度																																																																															
36,964	36,060																																																																															
(歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>14-2-1-1</td><td>デジタル田園都市国家構想交付金</td><td>149,665</td><td>72,264</td><td>7 報償費</td><td>191,800</td><td>45,000</td></tr><tr><td>20-5-5-1</td><td>コピー機使用料</td><td>14,495</td><td>8,970</td><td>8 旅費</td><td>11,600</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10 需用費</td><td>670,949</td><td>638,478</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>710,189</td><td>602,244</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>874,349</td><td>683,478</td><td>計</td><td>874,349</td><td>683,478</td></tr></table>											款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	14-2-1-1	デジタル田園都市国家構想交付金	149,665	72,264	7 報償費	191,800	45,000	20-5-5-1	コピー機使用料	14,495	8,970	8 旅費	11,600	0					10 需用費	670,949	638,478																														一般財源	710,189	602,244					計	874,349	683,478	計	874,349	683,478
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																										
14-2-1-1	デジタル田園都市国家構想交付金	149,665	72,264	7 報償費	191,800	45,000																																																																										
20-5-5-1	コピー機使用料	14,495	8,970	8 旅費	11,600	0																																																																										
				10 需用費	670,949	638,478																																																																										
	一般財源	710,189	602,244																																																																													
	計	874,349	683,478	計	874,349	683,478																																																																										
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		新規利用者の獲得、図書館利用者の拡充に向けて、幅広い年代を対象に企画事業を実施する。町民や利用者、他課や団体等と連携した事業の実施をする。																																																																													
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																															
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		「連携」の視点を継続しながら、事業実施する。図書館ホームページやテノヒラ役場、図書館Instagramを活用したイベント周知で参加者を広く集め、図書館利用へ繋げる。																																																																													
	解決すべき課題への方策		児童・生徒の利用を増やすためにオリエンテーションのやり方を見直し、本を借りる体験ができるようにする。春のスタートを大切にし、図書館来館のきっかけになる仕掛けを企画する。																																																																													

事業名	5	図書館普及促進事業	所属名	人権・社会教育課																																																																				
(計画) ○ 図書館及び図書館応援団企画事業 ・ 講師謝金 100,000円 ・ 図書館応援団R7.4設立予定 ○ おはなし会 図書館定例、保育園、学校等 ○ むいぐるみのおとまりかい 年1回 ○ 図書館クイズ 年1回 小・中学生対象 ○ 図書館まつり 年1回 生涯学習作品展と同日開催 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 <table><tr><td>事業名</td><td>会場</td><td>参加者数又は回数</td></tr><tr><td rowspan="3">文学講座</td><td>キナルなんぶ</td><td>15人</td></tr><tr><td>天萬庁舎</td><td>15人</td></tr><tr><td>キナルなんぶ</td><td>10人</td></tr><tr><td>なんぶらりー読書会</td><td>キナルなんぶ</td><td>1月開始 毎月1回</td></tr><tr><td>わんこ読書会</td><td>キナルなんぶ</td><td>15人</td></tr><tr><td>羊毛フェルトで干支づくり</td><td>天萬庁舎</td><td>20人</td></tr><tr><td>おはなし会</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・図書館定例</td><td>キナルなんぶ</td><td>毎月1回</td></tr><tr><td>・赤ちゃんのおはなし会</td><td>天萬庁舎</td><td>年4回</td></tr><tr><td>・保育園</td><td>町内4園</td><td>毎月1回</td></tr><tr><td>・学校</td><td>町内小学校</td><td>毎月1回</td></tr><tr><td>・いきいきサロン</td><td>集落の公民館</td><td>1回</td></tr><tr><td>・その他</td><td>育児支援センター</td><td>1回</td></tr><tr><td>むいぐるみのおとまりかい</td><td>天萬図書館</td><td>9人</td></tr><tr><td>図書館クイズ</td><td>両図書館</td><td>150人</td></tr><tr><td>図書館まつり</td><td>農業者トレーニングセンター</td><td>約300人</td></tr><tr><td>なんぶらりー映画会</td><td>まんてんホール</td><td>70人</td></tr></table> ＜文学講座＞ 「源氏物語を味わおう・続」「文学は面白い」 「私の推し文学」がテーマの3回講座 講師: 中永廣樹さん 開催日: 6/21、9/6、10/4 ＜わんこ読書会＞ 犬(スクールドッグ)へ絵本の読み聞かせ。 講師: 青木潤一さん(動物介在活動コーディネーター) 開催日: 12/6 ＜図書館まつり＞ 古本・古雑誌市、栞づくりワークショップ 開催日: 11/30 ＜むいぐるみのおとまりかい＞ 子どもたちの代わりにむいぐるみが図書館にお泊り。 図書館探検や絵本を選んだりする。むいぐるみの体験を通じて子どもたちが図書館に親しむきっかけをつくる。 開催日: 1/24 ○ 図書館用品の購入 ・ ICタグ 6,000枚 297,000円 ・ 図書バーコード 5,000枚 49,500円 ○ 図書館用品の購入 ・ ICタグ 6,000枚 ・ バーコード 9,000枚 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 産業課と連携した農業講座の実施を予定していたが、講師と内容についての折り合いがつかず、実施できなかった。 単位:円 <table><tr><td>細節</td><td>予算額</td><td>決算額</td><td>内容</td></tr><tr><td>報償費</td><td>61,456</td><td>45,000</td><td>文学講座(15,000) 羊毛フェルト(20,000) わんこ読書会(20,000)</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>640,000</td><td>638,478</td><td>ICタグ(297,000) バーコード(89,100) コピー代(54,196) 図書館用品・事務用品(198,182)</td></tr><tr><td>計</td><td>701,456</td><td>683,478</td><td></td></tr></table>					事業名	会場	参加者数又は回数	文学講座	キナルなんぶ	15人	天萬庁舎	15人	キナルなんぶ	10人	なんぶらりー読書会	キナルなんぶ	1月開始 毎月1回	わんこ読書会	キナルなんぶ	15人	羊毛フェルトで干支づくり	天萬庁舎	20人	おはなし会			・図書館定例	キナルなんぶ	毎月1回	・赤ちゃんのおはなし会	天萬庁舎	年4回	・保育園	町内4園	毎月1回	・学校	町内小学校	毎月1回	・いきいきサロン	集落の公民館	1回	・その他	育児支援センター	1回	むいぐるみのおとまりかい	天萬図書館	9人	図書館クイズ	両図書館	150人	図書館まつり	農業者トレーニングセンター	約300人	なんぶらりー映画会	まんてんホール	70人	細節	予算額	決算額	内容	報償費	61,456	45,000	文学講座(15,000) 羊毛フェルト(20,000) わんこ読書会(20,000)	消耗品費	640,000	638,478	ICタグ(297,000) バーコード(89,100) コピー代(54,196) 図書館用品・事務用品(198,182)	計	701,456	683,478	
事業名	会場	参加者数又は回数																																																																						
文学講座	キナルなんぶ	15人																																																																						
	天萬庁舎	15人																																																																						
	キナルなんぶ	10人																																																																						
なんぶらりー読書会	キナルなんぶ	1月開始 毎月1回																																																																						
わんこ読書会	キナルなんぶ	15人																																																																						
羊毛フェルトで干支づくり	天萬庁舎	20人																																																																						
おはなし会																																																																								
・図書館定例	キナルなんぶ	毎月1回																																																																						
・赤ちゃんのおはなし会	天萬庁舎	年4回																																																																						
・保育園	町内4園	毎月1回																																																																						
・学校	町内小学校	毎月1回																																																																						
・いきいきサロン	集落の公民館	1回																																																																						
・その他	育児支援センター	1回																																																																						
むいぐるみのおとまりかい	天萬図書館	9人																																																																						
図書館クイズ	両図書館	150人																																																																						
図書館まつり	農業者トレーニングセンター	約300人																																																																						
なんぶらりー映画会	まんてんホール	70人																																																																						
細節	予算額	決算額	内容																																																																					
報償費	61,456	45,000	文学講座(15,000) 羊毛フェルト(20,000) わんこ読書会(20,000)																																																																					
消耗品費	640,000	638,478	ICタグ(297,000) バーコード(89,100) コピー代(54,196) 図書館用品・事務用品(198,182)																																																																					
計	701,456	683,478																																																																						

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費	会計名	一般会計
事業名		2	保健体育総務費事務費						所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民	総合計画における位置づけ ⑦歴史・文化およびスポーツの振興 「4つの挑戦」から見た位置づけ ①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち) 根拠法令・要綱等							
	意図 (対象をどうするか)	健康の保持・増進や体力の向上が図られ、生涯に渡って健康的な生活を送ることが目指されている。	名称		南部町スポーツ大会等及び文化芸術事業派遣費助成金交付規則					
			URL		https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00001051.html					
			名称		南部町スポーツ推進委員に関する規則					
			URL		https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000244.html					
	成果の視点 (どのような効果があるか)	健康増進と体力向上が図られ、生涯に渡り健康で活力ある生活を送るための基盤が作られる取り組みが行われている。	名称		南部町スポーツ推進審議会条例					
			URL		https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000243.html					
決算増減の理由			執行率の理由							
非該当			非該当							
前年度比較	前年度決算額		本年度決算額		差 引		増 減		本年度執行率	88.9 %
	6,177,954 円		7,380,773 円		1,202,819 円		19.5 %			
	前年度予算額		本年度予算額		差 引		増 減			
	7,033 千円		8,303 千円		1,270 千円		18.1 %			
【事業内容】 ①町内各種スポーツ団体等の育成支援や、各大会遠征への参加支援を行う。 主催大会運営への支援や財政的支援、関係団体に負担金を支払い、団体運営と組織力強化の育成を図る。 ②スポーツ推進委員:生涯スポーツを普及促進し、町民の健康・体力の増進を促進する。 ③スポーツ推進審議会:スポーツの振興に関する重要実行について、調査及び審議を行う。 ④スポーツ振興コーディネーターの委託 ⑤夏期巡回ラジオ体操事業を実施し、町民の健康促進を図る。										
【決算の状況】 (計画) ①町内各種スポーツ団体等の育成支援や、各大会遠征への参加支援を行う。 主催大会運営への支援や財政的支援、関係団体に負担金を支払い、団体運営と組織力強化の育成を図る。 ○大会出場応援看板の作成 全国大会に出場する方へ激励の意を込めて、出場応援看板を作成する。 20件(個人・団体):213,400円 ○補助金の交付 南部町社会教育関係団体等活動支援事業 (事業名:緑水湖マラソン実行委員会補助金) 交付目的:緑水湖周辺を活用した南部町のPR及びマラソンを通じて健康と体力づくりへの関心を高める。 交付先:緑水湖マラソン実行委員会 予算額:300,000円 ○負担金 ・西伯郡スポーツ協会負担金:842,500円 ・県スポーツ推進委員協議会負担金:13,500円										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
							1 報酬	266,400	277,200	
							8 旅費	27,600	0	
							10 需用費	255,598	511,358	
							11 役務費	35,333	34,725	
							12 委託料	3,587,323	3,795,000	
							13 使用料及び賃借料	539,600	1,173,490	
							18 負担金補助及び交付金	1,466,100	1,589,000	
	一般財源				6,177,954	7,380,773				
	計				6,177,954	7,380,773	計	6,177,954	7,380,773	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		スポーツ大会の開催支援やスポーツ大会等派遣助成金等を継続して行い、生涯スポーツの普及、発展の推進に繋げる。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		各活動への支援を継続しながら、新たなスポーツ環境の検討を行い、その整備を図る。							
	解決すべき課題への方策		関係団体の意見や、審議会の答申をもとに具体的な施策を展開する。 スポーツ推進委員の活動の機会を創出し、町民への還元を行う。							

事業名	2	保健体育総務費事務費	所属名	人権・社会教育課																				
○各大会遠征への参加支援を行う。 ・大会等派遣助成金:500,000円 予選大会等を経て西日本大会以上の大会に出場する方に派遣助成金を支払う。																								
(1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・各助成金・補助金の給付により、持続的な大会運営や、大会参加の機会創出ができています。 ・西伯郡の住民が参加する西伯郡郡民スポーツ大会の持続的な運営や上位大会の県スポーツレクリエーション祭への選手派遣等、郡内の生涯スポーツの振興に寄与した。 ・県内で活躍するスポーツ推進委員の活動や年1回開催される研修会の活動に充てられ、委員間の交流や、資質向上に大きく寄与した。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 看板や派遣助成金の申請者が固定化しているため、制度の周知をする必要がある。																								
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ○大会出場応援看板の作成件数 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>個人</td><td>14</td><td>13</td><td>18</td></tr><tr><td>団体</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr></table> ・大会等派遣助成金:433,000円 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>申請数</td><td>7</td><td>8</td><td>14</td></tr></table> 団体:2 個人:12人 宿泊費、交通費の1/2補助						R5	R6	R7	個人	14	13	18	団体	2	2	1		R5	R6	R7	申請数	7	8	14
	R5	R6	R7																					
個人	14	13	18																					
団体	2	2	1																					
	R5	R6	R7																					
申請数	7	8	14																					
○補助金の交付 南部町社会教育関係団体等活動支援事業 (事業名:緑水湖マラソン実行委員会補助金) 交付先:緑水湖マラソン実行委員会 交付額:300,000円 事業費1,729,429円に対する町助成。 ・緑水湖健康マラソン大会 (令和7年10月19日開催) 広報なんぶ12月号4ページ <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>参加者数(人)</td><td>750</td><td>818</td><td>847</td></tr></table>						R5	R6	R7	参加者数(人)	750	818	847												
	R5	R6	R7																					
参加者数(人)	750	818	847																					
②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 持続的に大会運営ができてい一方で、運営する役員等の確保や、参加者数(西伯郡郡民スポーツ大会)が減少しつつあることが課題である。																								
②学校、公民館等の教育機関その他行政機関またはスポーツ団体等の行うスポーツ事業及びへ協力する。 ○スポーツ推進委員(委員:9人) 任期:令和7年4月1日～令和9年3月31日 郡スポーツ推進委員連絡協議会事業 県スポーツ推進委員連絡協議会事業 町内事業への協力 町スポーツ推進委員協議会定例会																								
(1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・町内で実施された事業に協力し、町民の健康・体力の増進を促進することができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ・研修等で習得した内容を、町民に還元することができていない。																								
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 郡スポーツ推進委員連絡協議会事業 ・交流会(グラウンドゴルフ) 11月22日(3人) ・研修会(コンディショニング講座)3月7日(4人) 県スポーツ推進委員連絡協議会事業 ・県スポーツ推進委員研究大会(3人) 町内事業への協力 ・全日本トライアスロン皆生大会ボランティア 6人 ・緑水湖健康マラソンボランティア 6人 ・夏期巡回ラジオ体操運営 2人 ・町スポーツ推進委員協議会定例会 5月9日																								
②達成出来なかったこと(問題)とその理由 委員の活動がマンネリ化しており、新たな活動を検討する必要がある。																								
③スポーツの振興に関する重要実行について、調査及び審議を行う。 ○スポーツ推進審議会 委員任期:令和7年10月1日～令和9年9月30日 委員:6人(委員数は7人以内、内2人は女性)																								
(1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 部活動地域展開の今後の方針や、スポーツ振興コーディネーターの活動内容、その他、町事業についての意見が交わされ、クラブ無所属の子ども達へのスポーツ参加への機会創出について議論がなされた。																								

事業名	2	保健体育総務費事務費	所属名	人権・社会教育課
②達成出来なかったこと(問題)とその理由 ・議題の固定化が見られるため、議題につながる意見収集や、解決策を審議する必要がある。 ・町が現在抱える課題の整理が不十分であった。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 第1回 9月18日(5人) 第2回 3月23日(5人) 委員との日程調整を丁寧に行ったため、を2回実施することができた。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 審議会の内容を、議論したことで留めてしまっているため、各関係団体や事業に十分に周知、反映できていない。 ④スポーツ振興コーディネーターの委託 ○スポーツ振興コーディネーター 目的:スポーツの活性化による町民のスポーツ実施機会の拡充や体力向上・健康増進。 委託先:南部町総合型地域スポーツクラブ「スポnetなんぶ」 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・小学校:継続的に運動を行うことで、体力の向上が見られた。運動が苦手だった児童から、運動が好きになったという声があった。 ・中学校では、部活動等で運動を行うことがない生徒にむけて、体を動かす機会を提供することができた。 ・障がい者施設で行ったボッチャ体験をきっかけに、中国大会に出場した施設があった。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 各施設等での聞き取りに時間を要し、具体的な活動に移行するまでの時間がかかってしまった。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ・小学校:クラブ活動や授業に参加。児童に助言、指導を行った。「パワーアップタイム」(会見第二小学校)では、週1回楽しみながら体を動かす時間を創出。年3回体力測定を行った。 ・中学校:ぞうさんがけレース「Z1グランプリ」 部活以外でも中学生に楽しく・面白く身体を動かす環境作りの第1歩として企画。 南部中:11月21日(7組21人参加) 法勝寺中:11月20日(7組21人参加) ・障がい者施設:ニュースポーツの体験を実施。2施設の交流会を実施した。 運動が苦手な児童生徒を巻き込んで、楽しく体を動かす機会の提供をすることができた。 障がい者施設間の交流会にもなり、次年度の開催について強く希望があった。 ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ニーズ等の聞き取りに時間を要したため実施回数の偏りがでた。  ↑ Z1グランプリの様子  ↑ 障がい者施設間の交流会の様子 ⑤夏期巡回ラジオ体操事業を実施し、町民の健康促進を図る。 ○夏期巡回ラジオ体操事業 目的:早寝・早起きの基本的生活習慣や正しい生活リズムを身につけるなど、町民の健康促進する。 (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・巡回送迎バスを手配し、会場から遠い町民も参加しやすい環境を整えた。 ・夏休みを過ごす子どもたちや、住民にとって思い出づくりの一環となることができた。 ・とっとり花回廊のご厚意で事業終了後に無料で入園することができ、200人以上の入園があり参加者の満足度を上げることができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 実施に際し、会場設営にかかる準備物品の負担がとて大きかった。				

事業名	2	保健体育総務費事務費	所属名	人権・社会教育課
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ・目標としていた参加者数600人を超える参加者があった。 ・テノヒラ役場、町インスタグラム、町ホームページなど多くの媒体で広報を行ったため、事業について広く周知ができ、町内外から多くの参加があった。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 送迎バスを手配したが、乗車人数が想定よりも少なかったため、同様のイベントを実施する際は検討が必要。  ←会場の様子 広報なんぶ9月号8ページ				
単位:円				
細節	予算額	決算額	内容	
非常勤等報酬	286,000	277,200	スポーツ推進委員報酬、スポーツ推進審議会委員報酬	
消耗品費	556,000	510,558	夏期巡回ラジオ体操参加記念品、大会出場応援看板等	
燃料費	60,000	0	社会福祉協議会バス借上なしのため未執行	
普通旅費	21,000	0	大会参加時、引率者がバスに同乗のため未執行	
食糧費	8,000	800	郡スポーツ大会引率昼食費	
通信運搬費	22,000	16,200	郵便後納料金	
その他保険料	48,000	18,525	郡スポーツ大会保険料	
その他の委託料	3,827,000	3,795,000	スポーツ振興コーディネーター配置事業	
借上料	1,781,000	1,148,290	AEDレンタル、バス借上料	
使用料	38,000	25,200	夏期巡回ラジオ体操施設使用料	
その他負担金	856,000	856,000	西伯郡スポーツ協会負担金、県スポーツ推進委員協議会負担金	
その他補助金	800,000	733,000	緑水湖マラソン補助金、大会等派遣助成金	
合計	8,303,000	7,380,773		

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費	会計名	一般会計
事業名		3	総合型地域スポーツクラブ支援事業						所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	南部町総合型地域スポーツクラブ「スポnetなんぶ」						総合計画における位置づけ		
								⑦歴史・文化およびスポーツの振興		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
	意図 (対象をどうするか)	町内の生涯スポーツの拠点となる南部町総合型地域スポーツクラブの健全な事業運営が図られている。						根拠法令・要綱等		
								名称	スポーツ基本法	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/423AC1000000078	
								名称	南部町総合型地域スポーツクラブ活動補助金交付要綱	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	スポnetなんぶの事業の活性化 (会員数の増加、イベント行事の参加者増加)						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000733.html	
								名称		
URL										
決算増減の理由								執行率の理由		
前年度比較		前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	非該当		非該当		
		16,241,219	16,358,000 円	116,781 円	0.7 %					
		前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減					
		16,324 千円	16,391 千円	67 千円	0.4 %					
		本年度執行率	99.8 %							
【事業内容】 ○町民の健康づくりと生涯スポーツを推進するため、NPO法人南部町総合型地域スポーツクラブ「スポnetなんぶ」に必要な支援を行う。 ○住民の健康づくりや地域交流、生涯スポーツの実現に向けて、教育委員会事務局と連携を図る。										
【決算の状況】 (計画) ○南部町総合型地域スポーツクラブ活動補助金 交付目的:南部町総合型地域スポーツクラブの健全な運営を図るための支援を行うため。 交付先:南部町総合型地域スポーツクラブ 予算額:16,391,000円 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ○南部町総合型地域スポーツクラブ活動補助金 交付先:南部町総合型地域スポーツクラブ 交付額:16,358,000円(内12,461,000円は人件費) 【補助金精算の内訳】 事業費23,815,957円に対する町助成。 ・中学校部活動の地域展開の受け皿として関係機関と連携を図りながら、サッカーと剣道の完全移行を実現できた。 ・少子化の影響を踏まえ、スイミングスクールのひまわり保育園間の送迎バスを増便し、参加機会の拡充と 保護者負担の軽減ができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 限られた財源や人材の中、新たな事業展開に繋げることができていない。										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
							18 負担金補助及び交付金	16,241,219	16,358,000	
	一般財源				16,241,219	16,358,000				
	計				16,241,219	16,358,000	計	16,241,219	16,358,000	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		NPO法人としての組織団体の力が持てるよう、各種事業の開催や会員増加促進などの活動支援を行う。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策		各種主催事業での町内施設利用促進のため、人件費、事業費を補助する。 新規スクールの開設など、幅広い世代のニーズにあった健康増進事業の展開に努める。							
	解決すべき課題への方策		主催事業への参加者増員や会員の増加促進等にあたり、関係諸団体と連携をとり支援を行う。知名度アップを図るためスポnetと教育委員会・その他関係諸団体と協力してPRを推進する。							

事業名	3	総合型地域スポーツクラブ支援事業	所属名	人権・社会教育課																																																																		
(2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 ・会員数の推移及び各事業参加者数(抜粋) <table><tr><td>会員数</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>正会員</td><td>22</td><td>21</td><td>22</td></tr><tr><td>利用会員</td><td>1,167</td><td>1,223</td><td>1,213</td></tr><tr><td>(ジュニア会員)</td><td>715</td><td>725</td><td>724</td></tr><tr><td>(大人会員)</td><td>452</td><td>498</td><td>489</td></tr><tr><td>賛助会員</td><td>19</td><td>23</td><td>17</td></tr></table> 会員数が僅かに減少傾向であるが、保育園への送迎バスの増便し、家庭負担軽減や、将来的な会員基盤強化を図ることができた。 主催イベント 事業数:54 延べ参加人数:1,975人 スクール活動 21教室 延べ参加人数 26,453人 ○スクール活動一覧 <table><tr><td>1</td><td>スイミング 親子教室</td></tr><tr><td>2</td><td>スイミング ジュニア</td></tr><tr><td>3</td><td>スイミング 成人スイミング</td></tr><tr><td>4</td><td>スイミング 水中運動</td></tr><tr><td>5</td><td>ストリートダンス</td></tr><tr><td>6</td><td>体操教室</td></tr><tr><td>7</td><td>チアダンス</td></tr><tr><td>8</td><td>いこトレ</td></tr><tr><td>9</td><td>丸谷サッカー</td></tr><tr><td>10</td><td>エアロビクス</td></tr><tr><td>11</td><td>しあわせヨーガ</td></tr><tr><td>12</td><td>太極拳</td></tr><tr><td>13</td><td>プチレッスン</td></tr><tr><td>14</td><td>ウェーブストレッチ</td></tr><tr><td>15</td><td>niko yoga</td></tr><tr><td>16</td><td>エアロ・フィットネス</td></tr><tr><td>17</td><td>からだほぐしヨガ</td></tr><tr><td>18</td><td>はじめてのピラティス</td></tr><tr><td>19</td><td>チュアビクス</td></tr><tr><td>20</td><td>健康ヨガ</td></tr><tr><td>21</td><td>パッピョーガ</td></tr></table> ②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由 ・町内人口減少に伴い、会員数が僅かに減少してきている。 ・ニーズ把握や町内外へのPRが不足していた。 参考:スポnetなんぶHP					会員数	R5	R6	R7	正会員	22	21	22	利用会員	1,167	1,223	1,213	(ジュニア会員)	715	725	724	(大人会員)	452	498	489	賛助会員	19	23	17	1	スイミング 親子教室	2	スイミング ジュニア	3	スイミング 成人スイミング	4	スイミング 水中運動	5	ストリートダンス	6	体操教室	7	チアダンス	8	いこトレ	9	丸谷サッカー	10	エアロビクス	11	しあわせヨーガ	12	太極拳	13	プチレッスン	14	ウェーブストレッチ	15	niko yoga	16	エアロ・フィットネス	17	からだほぐしヨガ	18	はじめてのピラティス	19	チュアビクス	20	健康ヨガ	21	パッピョーガ
会員数	R5	R6	R7																																																																			
正会員	22	21	22																																																																			
利用会員	1,167	1,223	1,213																																																																			
(ジュニア会員)	715	725	724																																																																			
(大人会員)	452	498	489																																																																			
賛助会員	19	23	17																																																																			
1	スイミング 親子教室																																																																					
2	スイミング ジュニア																																																																					
3	スイミング 成人スイミング																																																																					
4	スイミング 水中運動																																																																					
5	ストリートダンス																																																																					
6	体操教室																																																																					
7	チアダンス																																																																					
8	いこトレ																																																																					
9	丸谷サッカー																																																																					
10	エアロビクス																																																																					
11	しあわせヨーガ																																																																					
12	太極拳																																																																					
13	プチレッスン																																																																					
14	ウェーブストレッチ																																																																					
15	niko yoga																																																																					
16	エアロ・フィットネス																																																																					
17	からだほぐしヨガ																																																																					
18	はじめてのピラティス																																																																					
19	チュアビクス																																																																					
20	健康ヨガ																																																																					
21	パッピョーガ																																																																					

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育施設費	会計名	一般会計
事業名		1	体育施設管理事業						所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	南部町民野球場ほか4施設						総合計画における位置づけ		
								⑦歴史・文化およびスポーツの振興		
								「4つの挑戦」から見た位置づけ		
								②教育に挑戦(子育て・教育のまち)		
	意図 (対象をどうするか)	体育、スポーツを普及振興し、町民の心身の健全な発達が図られている。						根拠法令・要綱等		
								名称	スポーツ基本法	
								URL	https://laws.e-gov.go.jp/law/423AC1000000078	
								名称	南部町体育施設条例	
	成果の視点 (どのような効果があるか)	施設を安全・安心に利用できる環境が維持され、利用促進につながっている。						URL	https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000246.html	
								名称	南部町公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例	
URL								https://www.town.nanbu.tottori.jp/reiki/reiki_honbun/r049RG00000507.html		
決算増減の理由								執行率の理由		
前年度比較	前年度決算額	本年度決算額	差 引	増 減	非該当		非該当			
	8,762,140 円	10,524,220 円	1,762,080 円	20.1 %						
	前年度予算額	本年度予算額	差 引	増 減						
	8,788 千円	11,244 千円	2,456 千円	27.9 %						
本年度執行率		93.6 %								
【事業内容】 ○町民体育館、町民野球場、町民運動場、東西町スポーツ広場、東長田山村広場の維持管理を行い、スポーツを通じて、交流の場を提供する。 ○指定管理者へ管理委託を行い、委託後も管理運営等に関しては指導を行う。 ・町民体育館(平成29年度から指定管理委託実施) 委託期間…令和5年4月1日から令和10年3月31日まで(5年間) 指定管理者…特定非営利活動法人南部町総合型地域スポーツクラブ ・町民運動場・町民野球場(平成29年度から指定管理委託実施) 委託期間…令和6年4月1日から令和9年3月31日まで(3年間) 指定管理者…特定非営利活動法人南部町総合型地域スポーツクラブ ・東西町スポーツ広場(令和6年度から指定管理委託実施) 委託期間…令和6年4月1日から令和9年3月31日まで(3年間) 指定管理者…東西町地域振興協議会 ・東長田山村広場については、令和6年4月1日から直営で管理を行っている。										
【決算の状況】 (計画) ○町民体育館 施設利用者・団体の確立、増加を目指す。 指定管理者と連携し、施設利用の安全性を確保し、有効利用を図る。 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 ・用具貸出などの工夫を行い、一般利用件数が増えた。(昨年比119%増 255件) (歳入内訳 単位:円)										
【業務委託】 南部町民体育館指定管理 委託先: 特定非営利活動法人南部町総合型地域スポーツクラブ 委託期間: 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで(5年間) ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 酷暑の影響で、7～10月の利用人数が減ったため熱中症対策等を行う必要性がある。 (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称				前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
13-1-5-3	東長田山村交流施設使用料				130,000	71,760	10 需用費	87,077	1,681,321	
20-5-5-1	体育施設自動販売機設置手数料				3,740	3,740	11 役務費	321,439	321,439	
21-1-6-1	体育施設管理事業債(脱炭素化推進事業債)				0	1,000,000	12 委託料	7,765,344	8,076,290	
							13 使用料及び賃借料	71,280	71,280	
							14 工事請負費	517,000	373,890	
	一般財源				8,628,400	9,448,720				
計					8,762,140	10,524,220	計	8,762,140	10,524,220	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		利用頻度、利用者数は多い施設のため効率的な利用調整を行い、利用促進を図る。 安心して利用いただくため、施設設備等の修繕箇所等の確認及び計画的な修繕に努める。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成出来た点をさらに伸ばす方策	各指定管理者と連携し、利便性の向上と利用頻度の低い時間帯などの解決策を模索し、利用の促進を図る。必要な修繕等を適宜行う。								
	解決すべき課題への方策	各指定管理者と連携し、利用頻度の低い時間帯の利用促進策を検討する。 老朽化に伴う施設設備等の修繕を計画的に行う。								

事業名	1	体育施設管理事業	所属名	人権・社会教育課
-----	---	----------	-----	----------

(2)活動上の実績

①実施出来たこと(活動実績)とその理由
利用者数及び使用料収入推移

	R5	R6	R7
利用者数(人)	12,879	13,838	11,956
使用料(円)	752,180	625,560	583,700

利用者・利用料ともに減少傾向であるが、定期利用者の確保ができており、安定した運営ができています。

(計画)

○町民運動場・町民野球場

施設利用者・団体の確立、増加を目指す。
指定管理者と連携し、施設利用の安全性を確保し、有効利用を図る。

(実績)

(1)成果上の実績

①達成出来たこと(成果実績)とその理由
老朽化した器具等を段階的に更新し、利用者の利便性を図ることができた。

(2)活動上の実績

①実施出来たこと(活動実績)とその理由
利用者数及び使用料収入推移

	R5	R6	R7
利用者数(人)	運:3,219 野4,387	運:4,792 野:4,050	運:3,774 野:2,216
	計 7,606	計 8,842	計 5,990
使用料(円)	運:16,740 野:208,000	運:48,050 野:198,640	運:33,170 野:208,000
	計 224,740	計 246,690	計 241,170

・定期利用者を確保し、安定した運営ができています。(令和6年度は「ねんりんピック」開催により利用者が増加傾向にあった。)

○東西町スポーツ広場

施設利用者・団体の確立、増加を目指す。
指定管理者と連携し、施設利用の安全性を確保し、有効利用を図る。

(実績)

(1)成果上の実績

①達成出来たこと(成果実績)とその理由
夏季の夜間パトロールや、トイレに人感センサーの設置を行い、施設利用者が安全に利用できる対策を講じた。

(2)活動上の実績

①実施出来たこと(活動実績)とその理由
利用者数及び使用料収入推移

	R5	R6	R7
利用者数(人)	335	895	R7
使用料(円)	5,580	0	1,240

幅広い年代のテニスやバスケットボール等での利用ある。

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由
部活動の地域移行が始まり、屋外で活動をする団体が雨天時に当施設を利用できるように事前予約をしているため、一般団体の利用できる回数が減少し、使用料収入が減少した。今後の使用料の確保等、施設のPRが課題。

【業務委託】
南部町民運動場・野球場指定管理
委託先:特定非営利活動法人南部町
総合型地域スポーツクラブ
委託期間:令和5年4月1日から
令和9年3月31日まで(3年間)

②達成出来なかったこと(問題)とその理由
雨天や夏季の猛暑により、多くのキャンセル(46件(予約140件))があり、施設利用者数が減少した。

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由
更なる利用者の確保や、リピーターの確保に向けた施設のPRが不足していた。

【業務委託】
東西町スポーツ広場指定管理
委託先:東西町地域振興協議会
委託期間:令和5年4月1日から
令和9年3月31日まで(3年間)

②達成出来なかったこと(問題)とその理由
施設の利用マナーに関し、実害が出る前の方策を管理者と協議・実施する必要がある。

②達成出来なかったこと(問題)とその理由
新規利用者やリピーターを確保するためのPRが不足していた。

○東西町スポーツ広場

施設利用者・団体の確立、増加を目指す。
指定管理者と連携し、施設利用の安全性を確保し、有効利用を図る。

(実績)

(1)成果上の実績

①達成出来たこと(成果実績)とその理由
夏季の夜間パトロールや、トイレに人感センサーの設置を行い、施設利用者が安全に利用できる対策を講じた。

(2)活動上の実績

①実施出来たこと(活動実績)とその理由
利用者数及び使用料収入推移

	R5	R6	R7
利用者数(人)	335	895	R7
使用料(円)	5,580	0	1,240

幅広い年代のテニスやバスケットボール等での利用ある。

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由
部活動の地域移行が始まり、屋外で活動をする団体が雨天時に当施設を利用できるように事前予約をしているため、一般団体の利用できる回数が減少し、使用料収入が減少した。今後の使用料の確保等、施設のPRが課題。

【業務委託】

南部町民運動場・野球場指定管理
委託先:特定非営利活動法人南部町
総合型地域スポーツクラブ
委託期間:令和5年4月1日から
令和9年3月31日まで(3年間)

②達成出来なかったこと(問題)とその理由
雨天や夏季の猛暑により、多くのキャンセル(46件(予約140件))があり、施設利用者数が減少した。

②実施出来なかったこと(活動上の問題)とその理由
更なる利用者の確保や、リピーターの確保に向けた施設のPRが不足していた。

【業務委託】

東西町スポーツ広場指定管理
委託先:東西町地域振興協議会
委託期間:令和5年4月1日から
令和9年3月31日まで(3年間)

②達成出来なかったこと(問題)とその理由
施設の利用マナーに関し、実害が出る前の方策を管理者と協議・実施する必要がある。

②達成出来なかったこと(問題)とその理由
新規利用者やリピーターを確保するためのPRが不足していた。

事業名	1	体育施設管理事業	所属名	人権・社会教育課												
○東長田山村交流施設 施設利用者・団体の確立、増加を目指す。 指定管理者と連携し、施設利用の安全性を確保し、有効利用を図る。 ※直営 (実績) (1)成果上の実績 ①達成出来たこと(成果実績)とその理由 老朽化している箇所の撤去を早急に行うことができ 安心して使える状態にすることができた。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 雨天時のみの利用が中心であり、利用者数等の 確保が課題である。 (2)活動上の実績 ①実施出来たこと(活動実績)とその理由 利用者数及び使用料収入推移 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>利用者数(人)</td><td>330</td><td>894</td><td>425</td></tr><tr><td>使用料(円)</td><td>15,600</td><td>130,000</td><td>71,760</td></tr></table> 雨天時利用者が多く、施設利用者が減少しているが、 新規個人利用や定期利用者の維持ができています。 ②達成出来なかったこと(問題)とその理由 施設の老朽化が進んでおり、計画的に修繕を 行っていく必要がある。 利用者の確保のための施設PRができなかった。						R5	R6	R7	利用者数(人)	330	894	425	使用料(円)	15,600	130,000	71,760
	R5	R6	R7													
利用者数(人)	330	894	425													
使用料(円)	15,600	130,000	71,760													
単位:円																
細節	予算額	決算額	内容													
消耗品費	10,000	1,485	東長田山村広場トイレ用LRD電球													
光熱水費	77,000	66,356	電気代、水道代													
施設修繕費	1,628,000	1,364,000	東長田山村広場腐食梁撤去、町民体育館天井照明取替工事													
備品修繕料	271,000	249,480	スパイラルローター交換													
手数料	86,000	52,200	し尿汲み取り料													
火災保険料	270,000	269,239	建物災害共済継続委託分担金(鳥取県町村会)													
保守点検委託料	245,000	176,000	東長田山村広場消防用設備等定期点検委託料(上田商事) 南部町民体育館バスケットゴール点検料													
その他委託料	579,000	400,290	東長田山村広場トイレ清掃業務、南部町民体育館ラバーマーク他油脂 状汚れ除去清掃、東西町スポーツ広場除草作業													
指定管理料	7,500,000	7,500,000	町民体育館3,950千円(南部町総合型地域スポーツクラブ) 町民野球場・運動場3,100千円(南部町総合型地域スポーツクラブ) 東西町スポーツ広場450千円(東西町地域振興協議会)													
借上料	72,000	71,280	AEDレンタル料													
備品購入費	506,000	373,890	南部町民体育館卓球台及び得点板													
合計	11,244,000	10,524,220	AEDレンタル料													